

Saitama Association of Radiological Technologists

RADIOLOGICAL SAITAMA

2024
no.1



CONTENTS

学術大会

- 第37回埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集

技術解説

- ベンダーニュートラルで豊富な線量解析機能を有する Radimetrics



公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

Saitama Association of Radiological Technologists

HP <https://www.sart.jp> E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

RADIOLOGICAL SAITAMA

Saitama Association of Radiological Technologists

2024/1 January
vol.72 no. 1

CONTENTS

第37回 SART 学術大会抄録集

第37回埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集 …… 7

技術解説

ベンダーニュートラルで豊富な
線量解析機能を有する Radimetrics …… 59

巻頭言

診療看護師って知っていますか？
副会長 城處 洋輔 …… 2

コラム

できる人に共通すること
常務理事 滝口 泰徳 …… 3
SART 会誌コラム
常務理事 八木沢英樹 …… 4

会告

第37回埼玉県診療放射線技師学術大会の開催案内および
参加登録について …… 5

お知らせ

埼玉県診療放射線技師会
電子ブックシステムのお知らせ …… 53
(公社) 埼玉県臨床検査技師会主催の講習会を
診療放射線技師が会員価格で受講ができます。 …… 54
埼玉県診療放射線技師会 メールマガジンのご案内 …… 55
賛助会員さまへのお知らせ …… 56
「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」 …… 57

本会の動き

2023年度 第8回 DR計測セミナー開催報告 …… 63
第8回 Freed セミナー 開催報告 …… 65
第8回 SART 学術ナイトセミナー
～CT検査ステップアップのための
ワンポイントアドバイス～ 開催報告 …… 66
2023年度 第14回 CT 認定講習会 開催報告 …… 67
2023年度 第21回 胸部認定講習会 開催報告 …… 68

各支部掲示板

第三支部 …… 69
第四支部 …… 70
第六支部 …… 71

求人コーナー

求人コーナー …… 73
求人広告掲載申し込み FAX 用紙 …… 74

議事録

2023年度 第1回常務理事会議事録 …… 75
2023年度 第4回理事会議事録(抄) …… 78
2023年度 第5回理事会議事録(抄) …… 86

役員名簿

2023・2024年度役員名簿 …… 92

正会員入会申込書 …… 94
退会届 …… 96
FAX 申し込み …… 97
年間スケジュール …… 98
編集後記

新年明けまして おめでとうございます

会員の皆さまには、希望に満ちた令和六年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また平素は、本会の運営に際しまして格別なご支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

本年も、公益社団法人の精神と職能団体の役割を果たすために、会員の皆さまと生き抜く決意を内外に宣言し、新年のあいさつとさせていただきます。



会長	富田 博信	第一支部理事	佐藤 吉海
副会長	潮田 陽一	第二支部理事	大西 圭一
副会長	城處 洋輔	第三支部理事	大友 正人
常務理事 (学術)	中根 淳	第四支部理事	大野 涉
常務理事 (学術)	滝口 泰徳	第五支部理事	矢崎 一郎
常務理事 (総務)	今出 克利	第六支部理事	仲西 一真
常務理事 (総務)	八木沢英樹		
常務理事 (公益)	佐々木 健	監事	田中 宏
常務理事 (編集・情報)	清水 邦昭	監事	浅野 克彦
理事 (財務)	肥沼 武司	顧問	小川 清
理事 (学術)	近藤 敦之	顧問	鈴木 正人
理事 (学術)	浅見 純一		
理事 (編集・情報)	吉田 敦		
理事 (公益)	紀陸 剛志		

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

診療看護師って知っていますか？

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
副会長 城處 洋輔



昨年11月8日における出来事ですが、職場の同僚から「今日は何の日か分かりますか？」と聞かれ、私は「良い歯の日ですか？」と答えました。何とも言えない空気が流れた後に、「レントゲン博士がX線を発見した日ですよ」と言われ、今までにどこかで聞いたかもしませんがすっかり忘れてしまっていてなかなか恥ずかしい思いをしました。1895年11月8日はわれわれの職業としての起源であり、日本においては1951年に診療X線技師法、1968年には診療放射線技師法が制定され、現在の診療放射線技師の資格に至ります。近年では、2021年に医師の負担軽減を目的とした、タスク・シフト/シェアを推進するため、診療放射線技師法を見直して、業務として行える行為を増やすことが盛り込まれました。

タスク・シフト/シェアについてはさまざまな職種において行われています。当院の看護部に特定看護師はいましたが、最近では診療看護師（Nurse Practitioner：NP）が活躍し始めました。皆さまのご施設にも従事されている方がいてすでにご存じかもしれませんが、私はこの資格を初めて知りました。われわれの資格と同じ「診療」という名前が付いていますが、どのような資格か調べてみますと、まず診療看護師になるためには、看護師として5年以上の実務経験を有し、かつ大学院修士課程を修了して資格試験に合格する必要があります。では特定看護師と何が違うのかというと、医療機関や大学院などで特定行為の研修を修了すると、特定看

護師になれます。特定行為を実施するときは、あらかじめ対応可能な範囲が明確に示された手順書による医師の指示に基づき、指示範囲内であれば手順書通りに対応し、指示範囲を超えていけば改めて医師の指示を仰ぎます。これに対し診療看護師は、全ての特定行為に加え、医師の直接指示による相対的医行為も行うことができます。従来より広い範囲の医行為を行えるため、現場で医師の判断を待たずに患者への対応ができ、医師の負担軽減に大きな力を発揮することが考えられます。

診療放射線技師も負けてられません。業務拡大の一つに造影剤を使用した検査やRI検査での静脈路を確保する行為ができるようになりました。最近では造影剤の副作用が少ないMRI検査やRI検査から取り組み始めている施設も増えてきているようですが、まだまだ少ない印象があります。当院では看護部の協力もあり、早い時期から研修体制を構築し、実施することができましたが、施設の規模など環境も異なると実施が難しい施設もあるかと思います。ただし、スキルアップ、業務の効率化、最終的には診療放射線技師の地位向上にも繋がる可能性もあるため、積極的に取り組むことでのメリットもあります。

まずは告示研修の受講が必須です。告示研修の必要性は理解しているものの、業務上不必要、費用などの理由で受講を控えている方もいると思いますが、免許の更新としてぜひ受講をお願い致します。

デキる人に共通すること



学術委員会

常務理事 滝口 泰徳

突然ですが、皆さまの周りには「デキる人」はどんな方でしょうか。私の周りにも多くのデキる人がいますが、ほとんどの方に共通している点は、仕事モードの「on」と休息や遊びモードの「off」の切り替えがしっかりとできているということです。皆さまの周りには「デキる人」も仕事をバリバリこなしつつ、休日には仕事を忘れ、全力で遊んでいる方も多いのではないのでしょうか。今回は仕事とプライベートのon・offの重要性についてご紹介します。

もっと仕事の成果を上げたい！評価が欲しい！デキる人になりたい！ならば、もっともっと頑張らなければ……！こう考えて、休日や夜のわずかな休息タイムまで仕事に費やしていませんか。その熱意は大変素晴らしいものですが、プライベートを犠牲にしてまで頑張っていることが、かえって仕事の成果が上がらない原因になっているかもしれません。「デキる人」は、プライベートを大事にします。仕事とプライベートを切り替え、脳にon・offのメリハリをつけることでパフォーマンスが上がると理解しているからです。

デキる人がプライベートも大事にする理由は、「on」と「off」の切り替えがうまくできるようになると、脳が「off」モードのときにしっかり休めるようになります。また、プライベートの時間にリフレッシュできるとストレスが軽減されるので、気持ちにも余裕が生まれます。こうしたプラスの作用が重なると、脳を「on」モードに切り替えたときに高い集中力を発揮することができます。つまり実力を発揮したい“ここぞ”というときに、良いパフォーマンスを発揮できるのです。こうしたon・off切り替えによる集中力の向上は、アスリートも重視しているのだそうです。

では、on・offの切り替えをうまく行うにはどうすればよいのでしょうか。それは次に紹介する、3つのことを行えばよいそうです。

【1】仕事を家に持ち帰らない

仕事を家に持ち帰るのが当たり前になっている人は、まずその習慣をなくしましょう。終業後は、仕事のことを忘れて脳をプライベートに切り替えるように意識してみてください。就業時間内に仕事を終わらせることを徹底すれば、これまで以上に業務の優先順位をつけられるようになって、効率的に仕事が進められる可能性があります。

【2】1日1時間、リセット時間を作る

頼まれた資料が…、講習会のスライドが…、学会の準備が…など常に考えていると心から休むことはできません。そこで1日1時間だけそれらを忘れ、考えないようにする「リセット時間」を作るのがよいそうです。リセット時間には、自炊をしてゆっくり食事をする、ストレッチをするなど、自分のためだけに時間を使ってのんびり過ごしてください。

【3】あらかじめプライベートの予定を入れる

on・offの切り替えができない人は、そもそも休日やオフの時間に予定を入れることをしません。あまりの忙しさに休みのことまで考えられないのかもしれませんが、休みの間も仕事のことを考えていたいのかもしれません。しかし、仕事ができる人ほどプライベートの予定も充実しています。「忙しいから予定を空けられない」ではなく、あらかじめプライベート

の時間に予定を入れてしまうのです。少し先の予定を入れることで、気持ちを安定的に保つてくれます。仕事に熱中するあまり、空いた時間はボーっとしているという方は要注意です。プライベートで無計画な時間の使い方が習慣化すると、仕事でもメリハリの利いた時間の使い方ができなくなり、思うような成果を挙げられなくなる可能性があります。毎週予定を立てるのは難しいという人は、興味がある習い事を始めたり、ジム通いを始めたりといった規則性のあるスケジュールにするのがお勧めだそうです。

私もいつか「できる人」と言われるよう、on・offの切り替えをしっかりと行い、精進していきたくと考えています。もし、私と同様にon・offの切り替えが苦手と思う方は、上記の3点を実施していただき、公私ともに充実させていただければ幸いです。

SART会誌コラム



総務委員会

常務理事 八木沢英樹

私自身、埼玉県診療放射線技師会役員になり14年が経過しました。はじめは、支部委員、次に支部理事、編集情報理事、編集情報常務理事、総務常務理事といつの間にか長きにわたり埼玉県診療放射線技師会のお世話になっています。続けて技師会の仕事ができるのは私自身とても勉強になります。職場での仕事だけでは、体験・経験ができない事ばかりです。また他施設の方との出会いも人生において刺激にもなりました。

編集情報委員会では、年4回発行の会誌企画・ホームページ掲載などを行っていました。会員の興味を引くコンテンツ掲載企画には苦勞しました。しかし、大変ではありますが会誌が完成すると達成感で苦勞が報われました。今回、総務委員会の担当となりました。沢山の定期会議（理事会・常務理事会・常務理事連絡会）の準備、お知らせなどの連絡、会議の司会進行、議事録作成などがあります。他には「定期総会」「役員研修会」「新春の集い」の準備・進行など。また表彰委員会も委員として参加しています。

役員・委員の方は、責任感があり、仕事が丁寧で迅速に処理を行います。また人としても尊敬できる方が多いです。研究会世話人と兼務されている方もやはり沢山います。職場でなかなかいないタイプの方が多いい気がします（良い意味で）。

技師会役員・委員の仕事で学べることは、企画の立て方・議案書・公文書の書き方、人付き合いの礼儀やマナー、一番大きいことは人との出会いです。さまざまな情報共有・相談などができます。これらは、職場での仕事にフィードバックもできます。ぜひ、技師会の仕事に興味を持っていただき委員から参加をお待ちしています。また技師会イベントにもどんどん参加をお願いします。

第37回埼玉県診療放射線技師学会の開催案内 および参加登録について

大会長 富田 博信
実行委員長 中根 淳

第37回埼玉県診療放射線技師学会を下記の日程で開催致します。
大会テーマは「[MANABI] 求められる診療放射線技師をめざして」です。学会大会の醍醐味である活発な議論を通じ、職場では得られない学びを持ち帰っていただこうと考え、今回このようなテーマとしました。開催方法は、大宮ソニックシティでの会場と一部セッションのWeb配信を予定しています。皆さまに満足していただけるような魅力ある学会大会を目指し、学会委員を中心に日々準備を進めてまいります。皆さまの参加を心よりお待ちしております。

記

日 程：2024年3月3日（日）

会 場：大宮ソニックシティ（国際会議室、市民ホール）
〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

参 加 費：事前申し込み 会員2,000円、非会員3,000円、賛助会員2,000円、学生無料
当日申し込み 会員3,000円、非会員4,000円、賛助会員2,000円、学生無料
※埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本診療放射線技師会・各都道府県の診療放射線技師会の会員であれば会員とします。

内 容：一般演説・大会講演・特別講演・学会委員会企画など

演題募集期間：2023年10月2日（月）～2023年11月25日（土）（終了しました）

参加登録：事前登録

2024年1月15日（月）～2024年2月19日（月）

本会HPの参加申し込みフォームからお申し込みください。

参加登録および参加登録費の入金を確認し、ご登録いただいたメールアドレスへ参加方法をご案内致します。

当日登録

会場の受付にて参加登録を行ってください。

支払方法：事前申し込み：銀行振り込みまたはPayPayとなります。期限は2024年2月20日（火）です。

当日申し込み：現金またはPayPayとなります。

事前支払いの場合は、以下にご注意ください。

- ・振り込み先口座およびPayPay支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。
- ・PayPayの場合、申し込み登録手順が3段階となります。
- ・振り込み手数料は受講者をご負担ください。

- ・期限までにお支払いされない場合は、当日申し込みの参加費を会場でお支払いください。

領収書の発行

1. 銀行振り込みの場合

各金融機関の日附印入り受領書、ATM利用明細書などをご使用ください。

2. ネットバンキングを利用した場合

振り込み内容詳細などをご自身で印刷してください。印刷方法は各金融機関HPをご参照ください。

3. PayPayの場合

自動返信メールの内容をご確認ください。

4. 当日申し込みで現金支払いの場合

領収書を発行致します。

参加費の注意事項

- ・事前申し込みの参加キャンセルに対する返金はいりません。
- ・入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。

連 絡 先：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

TEL：048-664-2728 FAX：048-664-2733

問い合わせ：埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳 Mail：j-nakane@sart.jp

以上



第37回

埼玉県診療放射線技師学会

「MANABI」

求められる診療放射線技師をめざして

会期：2024年 3月3日（日）

会場：大宮ソニックシティ 国際会議室・市民ホール
さいたま市大宮区桜木町 1-7-5

参加費：

事前申し込み：会員 2,000 円、非会員 3,000 円、賛助会員 2,000 円、学生無料

当日申し込み：会員 3,000 円、非会員 4,000 円、賛助会員 2,000 円、学生無料

こちらの QR コードより
お申し込みください。



大会長：富田 博信（埼玉県診療放射線技師会会長）

実行委員長：中根 淳（埼玉県診療放射線技師会常務理事）

主催：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

問合せ：TEL 048-664-2728 対応時間（月・水・金（祝祭日は除く）9:00～15:00）

e-mail sart@beige.ocn.ne.jp

第37回 埼玉県診療放射線技師学会

プログラム集

「MANABI」
求められる診療放射線技師をめざして

開催日：2024年3月3日（日）

会 場：大宮ソニックシティ

一部オンライン配信予定（Zoom）

開催概要

大会名：第37回埼玉県診療放射線技師学会大会

テーマ：「MANABI」求められる診療放射線技師をめざして

会期：2024年3月3日（日） 8：30 会場受付

大会長：富田 博信（公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長）

会場：大宮ソニックシティ
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
電話 048-647-4558（代表）
一部オンライン配信予定（Zoom）

主催：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会



会場のご案内

受付	ソニックシティホール	4F	国際会議室前ロビー
第1会場			国際会議室
第2会場	ソニックシティビル	4F	市民ホール401
第3会場			市民ホール404
機器展示			市民ホール402・403

ソニックシティホール 4F



ソニックシティビル 4F



第37回 埼玉県診療放射線技師学会大会 プログラム

時間	第1会場 国際会議室	時間	第2会場 市民ホール401	時間	第3会場 市民ホール404	時間	第4会場 市民ホール 402・403
8:30	受付開始	8:30	受付開始	8:30	受付開始		
9:00	【学術企画】 演題区分変更のお知らせ	9:00	【学術企画】 演題区分変更のお知らせ	9:00	【学術企画】 演題区分変更のお知らせ		
9:20		9:20		9:20			
9:30	開会式						
9:40							
9:50	一般演題Ⅰ (5演題) 一般撮影1 座長：樋口 誠一	9:50	一般演題Ⅶ (4演題) MRI 座長：妹尾 大樹	9:50	【学術企画】 臓器別に考える～乳腺～① 座長：亀山 枝里 講師：坂口 由樹 新島 正美 宮崎 千晶	10:00	機器展示
10:40		10:30	一般演題Ⅷ (3演題) 安全管理 座長：小川 智久				
10:50	一般演題Ⅱ (4演題) 一般撮影2 座長：吉井 肇	11:00					
11:30		11:10	一般演題Ⅸ (5演題) その他 座長：廣田 絵美				
12:10	一般演題Ⅲ (4演題) 学生 座長：吉澤 孝郁	12:00					
	ランチョンセミナー① 富士フィルムヘルスケア株式会社 講師：市川 真仁		ランチョンセミナー② 富士フィルムヘルスケア株式会社 講師：狩野 さおり	12:10	一般演題Ⅺ (3演題) Angio・透視 座長：茂木 雅和		
12:40	一般演題Ⅳ (4演題) CT1 座長：野々浦 成美	12:40	一般演題Ⅹ (4演題) 治療 座長：真壁 耕平	12:30	【学術企画】 症例検討会 座長：浅見 純一 講師：池田 圭介 山田 智子		
13:20		13:20		13:20			
13:30	【大会講演】 Zoom 配信予定 学びの機会 座長：富田 博信 講師：尾形 智幸						
14:30							
14:40	一般演題Ⅴ (4演題) CT2 座長：池野 裕太	14:40	【学術企画】 STAT 画像 Zoom 配信予定 座長：滝口 泰徳 ガイドラインの概要 講師：富田 博信 STAT 画像報告運用方法について 講師：飯泉 隼	14:30	【特別講演】 臓器別に考える～MMG～② 乳腺診療のアップデート (症例検討含む) 座長：田中 宏 講師：二宮 淳	15:00	
15:20							
15:30	一般演題Ⅵ (3演題) CT3 座長：白石 健吾	15:40					
16:00				16:00			
16:10	閉会式・表彰式						

参加者へのご案内

■ 参加方法

1. 本会HPより事前にお申し込みください。
事前登録の方は、当日のご案内を申込完了後、メールにてお知らせ致します。
2. 参加費は、以下の通りです。
事前申し込み：会員2,000円、非会員3,000円、賛助会員2,000円、学生無料
当日申し込み：会員3,000円、非会員4,000円、賛助会員2,000円、学生無料
3. 参加登録費の支払い方法は以下の通りです。
事前申し込み：銀行振り込みまたはPayPayとなります。期限は2024年2月20日（火）です。
当日申し込み：現金またはPayPayとなります。
4. 埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本診療放射線技師会もしくは各都道府県の診療放射線技師会の会員であれば会員とみなします。

【会場での参加】

1. ランチョンセミナーは当日受付にて整理券を配布します。

【オンラインでの参加】

1. ミーティングルームに入室する際には、受付番号と参加者名を設定してください。
例：99埼玉太郎
参加者名が変更されていない場合、待機室に移動させていただく場合がありますので、必ず変更してください。
2. 聴講時はマイクをミュート、カメラをオフに設定してください。
3. 座長および演者に質問する場合は、チャット機能を使用してください。
4. 参加前に必ず、「Zoom操作マニュアル～参加者向け～」を熟読してください。
<http://www.sart.jp/member2005/scrt/index.html>



■ 写真撮影などの禁止について

講演中の発表スライドの写真撮影・ビデオ撮影・録音は固く禁止致します。

座長・演者へのご案内

■ 一般演題演者の方へ

【演題受付】

1. 発表スライドは、当日ではなく事前に提出していただきます。
2. 学会で準備するパソコンのOSは、Windowsです。
発表スライドは、スライドサイズ4：3、PowerPoint 2019以降で作成することを推奨します。
3. 登録方法や期間につきましては、メールにてご案内します。

【口述発表方法】

1. 口述7分＋質疑応答3分です。
2. PowerPointのプレゼンテーションソフトを用いて行います。
(発表者ツールは使用できませんので、あらかじめご了承ください)
3. セッション開始20分前までに次演者席に着席してください。
4. プログラムの円滑な進行のため、時間厳守をお願いします。

■ 学術企画の演者の方へ

1. セッション開始20分前までに次演者席に着席してください。

■ 座長の方へ

1. セッション開始20分前までに次座長席に着席してください。
2. 各セッションの進行に関しましては、担当の座長に一任致しますので、割り当て時間を厳守していただきますようにお願いします。
3. 事前に大会HPより参加登録をお願いします。

学術企画 次年度学術大会のお知らせ

第1・2・3会場 9:00~9:20

一般演題登録における演題区分の変更

埼玉県診療放射線技師会 学術担当理事 中根 淳

2023年3月1日(水)に、日本診療放射線技師会から重要なお知らせとしてあったように、埼玉県診療放射線技師会としても、2021年に制定された「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の指針を受けて、2024年度の学術大会より演題募集において倫理審査委員会の承認を受けることを必須としました。ただし、日常の業務改善や症例報告については研究のカテゴリーとはせず、報告として発表いただけるように致します。また、人を対象としないファントム実験などについては研究として、研究計画や結果の分析ができていない場合には報告として発表していただくこともご検討ください。

2024年度の学術大会より、演題募集の際の演題区分を下記の通りとさせていただきます。皆さまには、何とぞご理解をいただきますようお願い致します。

演題区分

1 研究

- 1) 人を対象とした研究：倫理審査委員会の承認が必要
- 2) 人を対象としない研究：倫理審査委員会の承認は不要

2 報告（研究目的でない医療の一環と見なせるもので、症例報告は所属機関の長の承認を得たもの）

- 1) 症例報告：個々の患者についての詳細な報告であり、症状・兆候・診断・治療などの詳細についてまとめたもの。症例数については定義しない
- 2) 技術報告：ファントムを用いた実験や、線量測定・画質評価・撮影条件の横断調査など、データ取得過程も含め、人の個人情報、医用画像や診療情報を用いず、主に物理的な事実を検証し、その理解を広めることを目的としたもの
- 3) 実践報告：日常の業務改善、放射線の安全管理・医療安全・勤怠管理・院内教育などの詳細についてまとめたもの
- 4) その他：教育・臨床実習・実習前客観的能力試験など、教育などについての詳細をまとめたもの

大会講演 Zoom配信予定

第1会場（国際会議室） 13:30~14:30

座長：埼玉県診療放射線技師会会長 富田 博信

学びの機会

講師：前さいたま赤十字病院 放射線科部 技師長 尾形 智幸

人生において転機は何度か訪れる。私の学びの機会は埼玉県診療放射線技師会からであった。旧第六地区会から始まった多くの学びは、その後の人生を大きく変えてくれた。人生において訪れるさまざまな機会をチャンスととらえるか貧乏くじと考えるかで結果は大きく変わってしまう。今回、皆さまに訪れる転機を前向きにとらえる一助になれば幸いである。

受賞歴

平成3年5月1日 大宮赤十字病院 永年勤続表彰 勤続10年
平成13年4月1日 社団法人埼玉県放射線技師会表彰 勤続20年
平成13年5月1日 大宮赤十字病院 永年勤続表彰 勤続20年
平成23年4月1日 社団法人埼玉県放射線技師会表彰 勤続30年
平成23年5月1日 さいたま赤十字病院 永年勤続表彰 勤続30年
平成26年11月15日 公衆衛生事業功労知事表彰
平成29年6月2日 診療放射線業務功労者厚生労働大臣表彰
令和5年4月29日 叙勲 瑞宝双光章

特別講演

第3会場（市民ホール404） 14：30～16：00

座長：埼玉県立小児医療センター 田中 宏

乳腺診療のアップデート

講師 二宮病院 二宮 淳

乳腺の診療（診断・治療）は日々進歩・更新されており、診断に関しては各モダリティの技術の進化に加え、近年ではAIを併用した診断能の向上や仕事の効率化が注目され、治療に関しては遺伝子関連検査の増加や、それに基づいた薬剤の導入・治療選択肢の拡大があります。新しい知識・技術を使いこなすことで、今まで不明瞭・不正確であったものが明らかとなり、正確な判断ができることは、最終的に患者さまの利益につながると思われます。

普遍的で変わらない基礎的な知識・考えから、今日までの変遷についてお話できれば、また症例も交えて皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。

【学術企画】 症例検討会

第3会場（市民ホール404） 12：30～13：20

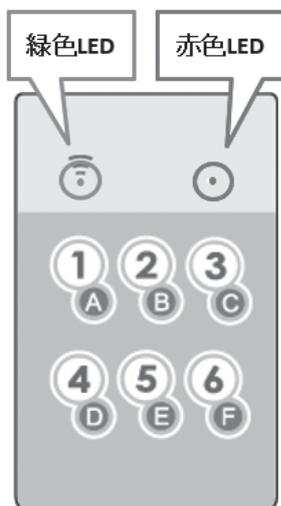
座長：行田中央総合病院 浅見 純一

～ 乳腺・消化管 ～

埼玉乳房画像研究会 山田 智子
埼玉消化管撮影研究会 池田 圭介

がん検診は他の分野と比較すると、従来から診療放射線技師による「読影の補助」が積極的に行われてきた。多量の画像を扱う検診においては、撮影中に気が付いた点なども含めた診療放射線技師による「拾い上げのチェック」は、読影の参考として医師からの要望も高く、以前から有効に活用されてきた。またがん検診は、診療放射線技師の技術レベルやモチベーションにより、がんの発見率が大きく左右される分野であるといっても過言ではない。特に、マンモグラフィ・消化管造影検査・超音波検査などは検査担当者の手技や技量により結果が大きく左右される。検査中に異常に気が付いた場合には、質的診断が可能となる追加撮影を行うこと、すなわち「診療放射線技師の専門性を生かした、読影しやすい画像を提供する」ことが「読影の補助」として求められている。「検査担当者の読影能力と撮影技術（画像の質）は比例する」といわれることから、症例検討会へ積極的に参加し読影能力を向上させる努力が、がん発見率向上に結びつく一助となる。

本企画は、アンサーパッドを使用した全員参加型の症例検討会である。読影者を指名することはせず、乳腺・消化管ともに初学者にも分かりやすい症例の提示と解説を主とした、参加しやすい構成となっている。ぜひ、多くの方にご参加いただき、アンサーパッドを使用し実際に参加することで、会場で行う症例検討会の醍醐味を味わっていただきたい。そして本企画が今後症例検討会へ参加する契機になれば幸いである。



アンサーパッド 使用方法

- ① 各設問に対する、回答したい番号を押してください。
※ 数字部分の「ボタン」を赤色LEDが点灯するまで強めに押してください。
- ② 制限時間内であれば、押し直しができますので、新しい番号を押してください。
最後に押した番号が有効回答となります。
※ 回答開始と同時に、音楽が流れます。
音楽が鳴り始めてから、ボタンを押して下さい。
- ③ 緑色LED（送信ランプ）が点灯している間、回答ボタンを押しても無効になります。
回答ボタンは連続で押さないで下さい。

学術委員会企画

第3会場（市民ホール404） 9：50～11：30

座長：熊谷総合病院 亀山 枝里

臓器別に考える～乳腺 腫瘍性病変～

マンモグラフィ	行田中央総合病院	坂口 由樹
乳腺エコー	熊谷生協病院	新島 正美
乳腺MRI	埼玉医科大学国際医療センター	宮崎 千晶

近年、放射線治療・画像診断・管理などの医療用放射線領域に関する業務が増大しており、当該業務の専門家として、医療現場における診療放射線技師の役割は大きなものとなっている。しかし、モダリティの高度化・専門化により、全てのモダリティを網羅し疾患鑑別を行うことが困難になってきている。そのような中、われわれ診療放射線技師は従来のモダリティ別ではなく、臓器・疾患別に学んでいく事も重要であると考えられる。

埼玉県診療放射線技師会は以前より「臓器別に考える」ということで、モダリティに拘らず、臓器や疾患に特化したシンポジウムを行ってきた。今回は乳腺をメインに各モダリティの検査方法や特徴、検査時の工夫など実際の症例を交えて学べる内容とした。乳がんの罹患者数は増加の一途をたどり、死亡者数の減少は十分に実現されていない。そのため早期乳がんの検出に向けて、質の高い画像提供と読影力の向上が課題である。本セッションでは乳腺疾患の中でも腫瘍性病変に特化し紹介する。

本企画は、この後に行われる症例検討会や、特別講演で行われる「乳腺診療のアップデート」と共に学んでいただくことで、さらに有用な知識を得られる構成となっている。ぜひ、多くの方にご参加いただき、明日以降の業務で活かしていただければ幸いである。

学術委員会企画 Zoom配信予定

第2会場（市民ホール401） 14：40～15：40

座長：JCHO 船橋中央病院 滝口 泰徳

STAT画像報告

〔STAT画像報告ガイドラインの概要と診療放射線技師の役割〕

帝京大学 富田 博信

STAT画像報告ガイドラインは、日本医学放射線学会と日本診療放射線技師会が共同で策定したものである。このガイドラインの主な目的は、緊急画像診断における生命を脅かす状態を迅速に報告することにある。診療放射線技師と医師間の迅速なコミュニケーションを重視し、CTやMRIなどのさまざまなモダリティにおける重要所見の例と報告項目を示している。これには、重要な画像所見の報告遅延による治療の遅れや患者の死亡リスクを減らすことが目標である。緊急ケアにおける診療放射線技師の役割はますます期待されており、緊張性気胸や脳内出血、腹腔内遊離ガスなどの状態の報告に関する詳細な推奨事項を含んでいる。本セッションではガイドラインの概要について平易に解説する。

〔当院におけるSTAT画像報告運用方法について〕

上尾中央総合病院 飯泉 隼

近年、STAT画像の必要性に注目が集まり、今後の医療現場において重要なツールになることが予想される。われわれ診療放射線技師も、読影の補助からSTAT画像報告へと求められる行為に変化が起き、内容を理解し現場にフィードバックすることが非常に重要となる。

当院では、STAT画像報告ガイドラインが公表されるより前となる2020年7月からSTAT画像報告の運用を開始した。今回は、当院におけるSTAT画像報告の運用方法、現状評価と今後の課題について、包み隠さず症例を交えながら紹介する。

ランチョンセミナー

共催：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会、富士フィルムヘルスケア株式会社

ランチョンセミナー① 第1会場（国際会議室） 12：10～12：40

座長：埼玉医科大学病院 近藤 敦之

講師：富士フィルムヘルスケア株式会社 市川 真仁

富士フィルムヘルスケア株式会社は、MRIシステムの新しいモデルとして、70 cmの開口径を持つワイドボア1.5テスラ超電導MRIシステム「ECHELON Synergy（エシェロン シナジー）」を発売した。

「ECHELON Synergy」は、被検者（および操作者）が検査室へ入室し検査完了して退出するまでの時間を短縮する取り組みが行われている。撮像時に断層画像の位置・角度の自動設定が可能な機能やノイズ除去技術など、AI技術を活用した機能・技術を搭載したMRIシステムで、受診者への受信コイルセッティング時・寝台送り・操作コンソール上の操作など「ワンタップ」で撮像の実行をアシストするさまざまな機能が搭載されている（これらを総称してSynergyDriveという）。また「ECHELON Synergy」には、局所励起型サチュレーションパルスを用いた選択的MRA描出方法や、Diffusion Kurtosis Imaging (DKI)、また、3D画像解析ワークステーション「SYNAPSE VINCENT Core」を用いることで、磁化率定量的マッピング（QSM）や4D flowなどのAdvanced Applicationも対応可能となっている。

本講演では、「ECHELON Synergy」に搭載されたSynergyDriveと撮像アプリケーションについて解説する。

ランチョンセミナー② 第2会場（市民ホール401） 12：00～12：40

座長：埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳

講師：医療法人社団愛友会 伊奈病院 狩野さおり

当院は2023年8月の病院新築移転に伴い、X線TVの更新を図った。今回の使用目的の中でERCPがあるが、消化器内視鏡医からデバイスや臓器の重なりを避けて治療をしたい場面があるため、その機能が必要とされた。従来はこのニーズを満たすためにCアームが必要とされたが、今回導入した富士フィルムヘルスケア社製の『CUREVISTA Apex』は、オーバーチューブX線TVでありながら左右軸斜入が可能な製品である。この機能により、ERCP時に受診者の体位を動かすことなく、デバイスや臓器の重なりを避けることが可能となったため、その使用経験を報告する。

一般演題 目次

■ 一般演題Ⅰ 一般撮影1

第1会場（国際会議室） 9：50～10：40

座長：上尾中央総合病院 樋口 誠一

1. 人工膝関節(TKA、UKA)の撮影判断基準の検討について
丸山記念総合病院 医療技術部放射線科 関谷 直樹
2. デジタルマンモグラフィ装置における2つの撮影モードの比較検討
上尾中央総合病院 放射線技術科 岡田 彩
3. 目標線量指標(Target Exposure Index:EI)を用いた腹部ポータブル撮影における撮影条件の検討
上尾中央総合病院 放射線技術科 星野美紗子
4. 長尺撮影における結合用マーカーの作成
埼玉医科大学病院 中央放射線部 山川 千夏
5. 新人診療放射線技師の撮影技術指導における補助具使用の有用性
彩の国東大宮メディカルセンター 放射線科 谷川 奨

■ 一般演題Ⅱ 一般撮影2

第1会場（国際会議室） 10：50～11：30

座長：JCHOさいたま北部医療センター 吉井 肇

6. ダイナミックレンジ圧縮処理による濃度域の基礎的検討
上尾中央総合病院 放射線技術科 仙崎 莉子
7. 頭部撮影における散乱線補正処理の有用性
埼玉医科大学病院 中央放射線部 原 光之介
8. 下肢長尺撮影におけるダイナミックレンジ圧縮処理の至適パラメータの検討
上尾中央総合病院 放射線技術科 長内 俊樹
9. 移動型X線透視診断装置におけるエッジフィルタの画質への影響
埼玉県済生会加須病院 放射線技術科 長谷川 史

■ 一般演題Ⅲ 学生

第1会場（国際会議室） 11：30～12：10
座長：埼玉医科大学総合医療センター 吉澤 孝郁

10. マンモグラフィトモシンセシス画像の特性評価～コントラストの違い～
日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 松本 京佳
11. マンモグラフィトモシンセシス画像の特性評価～信号サイズの違い～
日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 濱上 冬凜
12. マンモグラフィトモシンセシス画像の特性評価～信号高さの違い～
日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 井出 泰誠
13. マンモグラフィトモシンセシス画像の特性評価～信号位置の違い～
日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 新井 陽翔

■ 一般演題Ⅳ CT1

第1会場（国際会議室） 12：40～13：20
座長：さいたま市立病院 野々浦成美

14. 急性腹症精査にて認めた特発性大網捻転症の1例
彩の国東大宮メディカルセンター 放射線科 畠山 栞
15. 下肢CTAにおける2断面テストインジェクション法の検討
JCHO埼玉メディカルセンター 放射線技術部 鈴木 優太
16. 逐次近似応用再構成法の違いが頭部CTAに与える影響
埼玉医科大学病院 中央放射線部 黛 大葵
17. 当直帯におけるETUDE（Expect The Unexpected diseases in Emergency）リスト運用の有用性についての検討
三郷中央総合病院 放射線技術科 大原 諒太

■ 一般演題V CT2

第1会場（国際会議室） 14：40～15：20

座長：さいたま赤十字病院 池野 裕太

18. 低線量肺がんCT検査における撮影条件と至適kernelの検討
石心会さやま総合クリニック 放射線室 菊地 春那
19. 頭部単純CT検査の画像処理作業をAIへのタスクシフトの検証
埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 千葉 南
20. 64列CT装置の高速撮影における撮影条件の組み合わせが画質に与える影響
埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 峯村 祐美
21. CT値と骨密度における相関関係の比較と検討
JCHO 埼玉メディカルセンター 放射線技術部 中島 一晴

■ 一般演題VI CT3

第1会場（国際会議室） 15：30～16：00

座長：埼玉医科大学総合医療センター 白石 健吾

22. 歯科CBCTにおけるFOVの違いによる画質変化の検討
上尾中央総合病院 放射線技術科 迫村 京香
23. 口腔領域における歯科用CTと医科用CTの画質比較
埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 坂巻 愛莉
24. 歯科CBCTにおける180度撮影モードの至適再構成フィルタの検討
上尾中央総合病院 放射線技術科 高橋 怜央

■ 一般演題Ⅶ MRI

第2会場（市民ホール401） 9：50～10：30
座長：埼玉医科大学国際医療センター 妹尾 大樹

25. MultiShot-EPI法の撮像条件の基礎的検討
石心会さやま総合クリニック 放射線室 加藤 佑基
26. 圧縮センシングを用いた肩関節MRIの検討
埼玉医科大学病院 中央放射線部 町田 友紀
27. 当院の頭部MRI撮像におけるネックカラーを使用した体動抑制の有用性の検討
三郷中央総合病院 放射線技術科 野上 由樹
28. オフセンターにおける拡散強調画像の歪み低減の検討
彩の国東大宮メディカルセンター 放射線科 今野 翔太

■ 一般演題Ⅷ 安全管理

第2会場（市民ホール401） 10：30～11：00
座長：上尾中央総合病院 小川 智久

29. 胸部CT検査における基準線量超過件数減少に向けた取り組み
メディカルトピア草加病院 放射線技術科 海老原香織
30. 水晶体測定用線量計導入による術者の被ばく管理について
三郷中央総合病院 放射線技術科 松本 大生
31. 演題取り下げ

■ 一般演題IX その他

第2会場（市民ホール401） 11：10～12：00

座長：小川赤十字病院 廣田 絵美

32. 当院放射線科における感染対策の意識向上への取り組み
JCHO 埼玉メディカルセンター 放射線技術部 北山 貴章
33. 急性虫垂炎疑いにおける超音波検査からCT検査につながる症例の検討
埼玉県立小児医療センター 放射線技術部 佐藤 克哉
34. SPECT/CTにおける脳血流シンチグラフィでの吸収補正の検討
JCHO 埼玉メディカルセンター 放射線技術部 御厨 香名
35. Saitama Stroke Network(SSN)における来院から治療までの迅速化に対する放射線科の工夫
埼玉県済生会加須病院 放射線技術科 松崎 千波
36. 骨密度検査の精度向上への取り組み
さいたま市立病院 中央放射線科 大角 哲也

■ 一般演題X 治療

第2会場（市民ホール401） 12：40～13：20

座長：済生会川口総合病院 真壁 耕平

37. 前立腺癌放射線治療における3種のポータブル超音波装置の膀胱容量測定精度の比較
彩の国東大宮メディカルセンター 放射線科 山本 楓汰
38. 吸引バッグの種類ごとの放射線減弱率と放射線治療計画装置による線量計算の比較
彩の国東大宮メディカルセンター 放射線科 藁谷 瞭太
39. 放射線治療用マーカを使用した前立腺IMRTにおける治療時間の変化
埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 大竹 綾乃
40. 放射線治療計画CTにおける金マーカを考慮した画像再構成条件の検討
埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 宮下明日香

■ 一般演題XI Angio・透視

第3会場（市民ホール404） 11：40～12：10

座長：上尾中央総合病院 茂木 雅和

41. 経皮的心房中隔欠損症閉鎖術（ASO）においてサイジングバルーンを用いたマニュアルキャリブレーションの有用性
埼玉県立小児医療センター 放射線技術部 藤畑 将理
42. 消化管撮影の線量低減の取り組み
埼玉県済生会加須病院 放射線技術科 鈴木 孝義
43. 造影コーンビームCTの希釈倍率の定量評価
彩の国東大宮メディカルセンター 放射線科 西澤佑吉朗

一般演題 抄録集

一般演題 I 一般撮影1

第1会場（国際会議室） 9：50～10：40

座長：上尾中央総合病院 樋口 誠一

1. 人工膝関節（TKA、UKA）の撮影判断基準の検討について

丸山記念総合病院
医療技術部放射線科

○関谷 直樹、織田 徹也
森 健司、木村 浩明

【目的】 膝関節術後の一般撮影では、撮影画像のインプラントの見え方に差があった。術後撮影の判断基準を検討し、画像の再現性が改善されたか評価した。

【方法】 整形外科医に術後の診断するポイントを確認し、それらを押さえた撮影法を検討した。膝関節の3D画像よりインプラントのずれがどの範囲まで許容範囲となるか整形外科医に判断してもらい基準を設定した。TKA、UKA20例ずつ抽選し、検査画像が基準に達しているか評価した。基準に達した割合を基準設定前と後で比較し画像が改善されたか評価した。

【結果】 正面像ではインプラントが左右方向に±8度以内、上下方向に±8度以内のずれが判断基準となった。側面像では大腿骨内顆、外顆のずれが5mm以内となった。基準に達している割合は設定前で54%、設定後で100%となった。

【結語】 基準を設けることで前回の検査との比較における再現性が改善され、術後の撮影画像の診断能が向上した。

2. デジタルマンモグラフィ装置における2つの撮影モードの比較検討

上尾中央総合病院
放射線技術科

○岡田 彩、手塚 裕奈、齊藤 里奈
立野 友香、市浦 京子、藤井 紀明

【目的】 当院のGE社製乳房撮影装置Senographe Pristinaでは、線量と画質において最適なバランスで撮影条件が設定されるAOP STDモードを使用している。今回、画質を重視したAOP STD+モードを使用するため、性能把握を目的とし検討を行った。

【方法】 PMMAファントムを用いて厚さ20、30、40、60mmで各モードについてAGD、CNRの測定を行った。

【結果】 20mmでは、各モードで撮影条件が同様であった。また30mmではAOP STDと比較し、AOP STD+ではAGD11.4%、CNR2.6%増加、40mmではAGD22.2%、CNR12.6%増加、60mmではAGD60.6%、CNR27.9%増加した。

【まとめ】 乳房厚が大きくなる程、AOP STDと比較してAOP STD+における線量の増加と画質の向上の割合が大きい傾向にあることが示唆された。

3. 目標線量指標 (Target Exposure AIndex:EI)を用いた腹部ポータブル撮影における撮影条件の検討

上尾中央総合病院
放射線技術科

○星野美紗子、樋口 新、瀬谷 一馬
松久保桃佳、茂木 雅和、藤井 紀明

【目的】 移動型X線撮影装置を用いた散乱線除去処理 (VG) 併用腹部X線撮影において、EIから算出された目標線量指標 (EI) を用いて撮影条件を検討した。

【方法】 (1) 撮影画像200枚を対象にEIを算出し、基準撮影条件を決定 (2) 算出値よりEI/mAs: ①500/1.8②743/2.8③938/3.6④1026/4.0⑤1229/5.0の5通りのファントム撮影画像を取得 (3) BG・上腹・下腹にROIを設定し、コントラスト・ノイズを算出し評価 (4) 正規化順位法でコントラスト・粒状性・鮮鋭度の視覚評価を行った。

【結果】 算出された基準撮影条件はEI:938の3.6mAsであった。コントラストは①②③で差はなく④⑤で低下し、ノイズは④⑤で低下した。視覚評価は、コントラスト・鮮鋭度共に②③で有意差を認めず、粒状性は⑤で最も視認性が向上した。

【結語】 EIを用いたVG併用腹部X線撮影条件は2.8mAsであった。

4. 長尺撮影における結合用マーカーの作成

埼玉医科大学病院
中央放射線部

○山川 千夏、高橋 忍
岡本 泰正、平野 雅弥

【背景・目的】 当院の長尺撮影システムは、FPD 3枚を縦に並べ1回曝射にて撮影を行っており、そのパネル端の結合位置については、前後パネルの境目に写り込んだ被写体のエッジから自動で決定される。今回、画像結合時に利用する高吸収マーカーを作成したため報告する。

【方法】 低融点鉛を加工し、数種類の高吸収マーカーを作成した。最も使いやすいものを当院技師を対象としたアンケート調査により決定した。

【結果・考察】 三角形が最も多く選ばれ、結合部前面パネルの筐体補正が行われる部分にまたがる大きさが選択された。また画像結合部両側にマーカーを配置することによって結合精度が向上する傾向にあった。高吸収マーカーのエッジを装置側が認識し、精度向上に繋がったと考えられる。

【結論】 作成したマーカーを使用することで、長尺撮影における結合位置の手動での調整が簡便になった。

5. 新人診療放射線技師の撮影技術指導における補助具使用の有用性

彩の国東大宮メディカルセンター
放射線科

○谷川 奨、中村 哲子

【目的】単純撮影におけるアントンセン氏 I 法は、希少な上に難易度の高い撮影法である。再現性の高い画像を得ることを目的とした補助具を作成し、その補助具を用いた新人診療放射線技師の技術指導の有効性について検討する。

【方法】下肢を撮影したCTのデータより、作成したVR画像を使って、後距踵関節と中距踵関節を直線的に描出する角度を計測し、その平均から補助具の最適角度を算出した。自作補助具・下肢ファントムを用いて、新人診療放射線技師4人に対しアントンセン氏 I 法の撮影指導を行い、距踵関節と足根洞の描出技術の習得について、昨年度の指導実績と比較した。

【結果】補助具の使用により距踵関節の描出割合は向上し、撮影技術習得時間も激減した。

【考察】アントンセン氏 I 法について補助具を用いた指導は有効であった。

【まとめ】希少撮影は経験できる機会が少ないため、補助具を使用した指導には有用性があり、撮影技術習得の一助となる。

一般演題Ⅱ 一般撮影2

第1会場（国際会議室） 10：50～11：30

座長：JCHOさいたま北部医療センター 吉井 肇

6. ダイナミックレンジ圧縮処理による濃度域の基礎的検討

上尾中央総合病院
放射線技術科

○仙崎 莉子、新井 隼統、中村 亮太
飯干 理久、小川 智久、藤井 紀明

【目的】 マルチダイナミックレンジ圧縮処理（以下、MDT）を使用する際、最適なパラメータを選択することが重要である。本検討では、MDTパラメータ（A～H）による濃度域の変化について検討した。
【方法】 撮影条件をA～Dは45kV、1.6mAs、E～Hは60kV、10mAsでアルミスロープを撮影した画像にパラメータをA～Hと変化させた。物理評価としてプロファイルカーブを作成し比較。視覚評価としてアルミスロープ画像を15段階に区切り濃度域の変化点を比較した。
【結果】 物理評価はA～DではA、B、C、Dの順に濃度域が広くなり、E～HではE、F、G、Hの順に濃度域が狭くなった。視覚評価は物理評価同様、低濃度側、高濃度側で共に有意差を認めた。
【結語】 低濃度圧縮であるA～DではA、B、C、Dの順に処理領域が高濃度側に広がり、高濃度圧縮であるE～HではH、G、F、Eの順に処理領域が低濃度側に広がった。

7. 頭部撮影における散乱線補正処理の有用性

埼玉医科大学病院
中央放射線部

○原 光之介、平野 雅弥
岡本 泰正、堀切 直也

【目的】 頭部側面撮影における散乱線補正処理を用いたグリッドレス撮影の有用性について評価を行った。
【方法】 72kV、9mAs、120cm、グリッドありで撮影した画像（RG）を基準とし、mAs値を4、5、7、9mAsと変化させたグリッドレス・散乱線補正処理画像（IG）を比較対象とした。物理評価としてNNPSとTTF、主観的評価としてIQFとScheffeの一对比較法を使用した。
【結果】 TTF、Scheffeの一对比較法による評価に有意な差は見られなかった。NNPSとIQFによる評価では、RGの9mAsとIGの5mAsで同等の結果となった。
【結語】 散乱線補正処理を使用することにより撮影条件の低減と、斜入による画像の濃度ムラの低減が可能であることが示唆された。IGにおける至適条件は72kV、5～7mAs程度と考えられる。4mAsにて画質低下を示した理由として入射線量の不足が考えられる。

8. 下肢長尺撮影におけるダイナミックレンジ圧縮処理の至適パラメータの検討

上尾中央総合病院
放射線技術科

○長内 俊樹、小宮山詞也、宮本 桃子
市川 暁、藤井 紀明

【背景】人工膝関節置換術での術前計画として下肢長尺撮影画像を使用して計測を行っている。計測には股関節から足関節までの範囲を撮影する必要があるが、体厚差による濃度変化により視認性が低下する事がある。そこでダイナミックレンジ圧縮処理(以下、DR圧縮処理)を用いて濃度変化を改善し、視認性の向上が可能か検討した。

【方法】臨床画像に対し、DR圧縮処理のパラメータであるMDTをI、M、P、Rに変化させた画像を取得し、物理評価として大腿骨頭・膝関節・足関節・軟部組織に関心領域を設定し、パラメータごとの変動係数を算出し比較した。また各組織および全体の視認性について視覚評価を行った。

【結果】物理評価ではIの変動係数が高値となり、M、P、Qでは大きな差を認めなかった。また視覚評価ではMが高評価であった。

【結語】MDTをMにすることで計測部位の視認性が向上することが示唆された。

9. 移動型X線透視診断装置におけるエッジフィルタの画質への影響

埼玉県済生会加須病院
放射線技術科

○長谷川 史、脇谷 正行、宝田 順

【目的】当施設に新規導入したFPD搭載移動型X線透視診断装置には、透視画像に対し3段階のフィルタの処理が可能である。今回、臨床で使用する上で画質への影響を検証した。

【方法】フィルタ強度を変更し、透視保存した画像より以下の検討を行った。①アクリルファントムとCD-RADファントムを使用し、CNR、IQFinvを算出した②人体ファントムから視認性について視覚評価を行った。

【結果】フィルタ強度を上げていくとCNRとIQFinvは若干低下した。視覚評価では評価部位で差はあるもの、フィルタなしと比べありの方が向上した。

一般演題Ⅲ 学生

第1会場（国際会議室） 11：30～12：10

座長：埼玉医科大学総合医療センター 吉澤 孝郁

10. マンモグラフィトモシンセシス画像の 特性評価～コントラストの違い～

日本医療科学大学
保健医療学部 診療放射線学科

○松本 京佳、山本 絵夢、近藤 啓介
大谷真由美、今花 仁人

【目的】マンモグラフィトモシンセシス画像において、信号コントラストの違いが上下スライスのアーチファクトや鮮鋭化処理に与える影響について検討した。

【方法】アクリル板にクレパスを信号として埋め込んだファントムを作成し、トモシンセシスモードで撮影した。得られたスライス画像上にプロファイルを取り、信号の最大値やアンダーシュートの発生量を調べた。

【結果】信号のコントラストが一定の値を下回る時、信号上下のアーチファクト発生量は減衰した。また信号のコントラストが一定の値を下回る時、アンダーシュートの発生量も減衰した。

【考察】アーチファクトはコントラストに依存して発生量が変わると考えられる。また鮮鋭化処理についてもコントラストに依存する強調処理が加えられていると推定される。

【まとめ】マンモグラフィトモシンセシス画像においてコントラストに依存した特性があることが分かった。

11. マンモグラフィトモシンセシス画像の 特性評価～信号サイズの違い～

日本医療科学大学
保健医療学部 診療放射線学科

○濱上 冬凜、山本 絵夢、近藤 啓介
大谷真由美、今花 仁人

【目的】マンモグラフィトモシンセシス画像において、信号サイズの違いが上下スライスのアーチファクトや鮮鋭化処理に与える影響について検討した。

【方法】アクリル板にクレパスを信号として埋め込んだファントムを作成し、トモシンセシスモードで撮影した。得られたスライス画像上にプロファイルを取り、再構成の手法上想定されるアーチファクト発生位置や強度と比較した。

【結果】信号サイズが大きいほどアーチファクト発生量は増加した。信号直上や直下のアーチファクトは距離が離れるほど減衰した。また信号サイズによりアンダーシュートの発生量は変化した。

【考察】アーチファクトは信号サイズにより発生量が変わり、かつ抑制処理が加えられていると推定される。また鮮鋭化処理も信号サイズに依存する強調処理が加えられていると推定される。

【まとめ】マンモグラフィトモシンセシス画像において信号サイズに依存した特性があることが分かった。

12. マンモグラフィトモシンセシス画像の特性評価～信号高さの違い～

日本医療科学大学
保健医療学部 診療放射線学科

○井出 泰誠、山本 絵夢、近藤 啓介
大谷真由美、今花 仁人

【目的】 マンモグラフィトモシンセシス画像において、信号高さの違いが上下スライスのアーチファクトや鮮鋭化処理に与える影響について検討した。

【方法】 支持台からの高さを変えて信号を埋め込んだファントムを作成し、トモシンセシスモードで撮影した。得られたスライス画像上にプロファイルを取り、再構成の手法上想定されるアーチファクト発生位置や強度と比較した。

【結果】 信号高さが支持台に近いほどその下側に発生するアーチファクトは上側よりも増加した。またアンダーシュートの発生量に変化はなかった。

【考察】 トモシンセシス画像は頭側から入射するX線情報のみで画像を再構成するため、CTよりもアーチファクトが発生しやすい。その量はX線入射方向に依存して不均一になると考えられる。また鮮鋭化処理に位置依存性はないものと推定される。

【まとめ】 マンモグラフィトモシンセシス画像において信号の高さに依存した特性があることが分かった。

13. マンモグラフィトモシンセシス画像の特性評価～信号位置の違い～

日本医療科学大学
保健医療学部 診療放射線学科

○新井 陽翔、山本 絵夢、近藤 啓介
大谷真由美、今花 仁人

【目的】 マンモグラフィトモシンセシス画像において、信号位置の違いが上下スライスのアーチファクトや鮮鋭化処理に与える影響について検討した。

【方法】 信号を埋め込んだファントムを作成し、X線管球回転軸からの距離を変えてトモシンセシスモードで撮影した。得られたスライス画像上にプロファイルを取り再構成の手法上想定されるアーチファクト発生位置や強度と比較した。

【結果】 アーチファクトはX線の入射方向に応じ発生位置が変化した。信号位置の直上や直下では減衰した。アーチファクトやアンダーシュートはRAWデータで一部欠損する信号では変化した。

【考察】 アーチファクトの位置はX線管球と信号との幾何学的関係より推定できるが信号位置に応じた抑制処理が加えられていると推定される。画面端では情報が不十分な為画像特性が変化する。

【まとめ】 マンモグラフィトモシンセシス画像において信号位置に依存した特性があることが分かった。

一般演題Ⅳ CT1

第1会場（国際会議室） 12：40～13：20

座長：さいたま市立病院 野々浦成美

14. 急性腹症精査にて認めた特発性大網捻転症の1例

彩の国東大宮メディカルセンター
放射線科

○畠山 栞、和田 樹昂、中村 哲子

【目的】特発性大網捻転症は比較的まれな疾患である。今回、特発性大網捻転症の1例を経験したので報告する。

【方法】右上腹部痛を主訴に、胆嚢炎疑いにて紹介受診患者の造影CTを行った。技師の一次所見と読影医の所見を照らし合わせ、整合性ならびに所見の特異性の確認を行った。

【結果】技師の一次所見として、胆嚢腫大・胆管拡張は認めなかったが、胆嚢周囲に脂肪織濃度上昇を認めた。読影医の所見として、肝前下部の大網右側と思われる領域に局限した脂肪織濃度上昇、ならびに右胃大網静脈から連続する静脈が限局的に捻転している所見が見られた。

【考察】技師の一次所見と読影医の所見では、脂肪織濃度上昇の所見の一致を認めた。しかし、大網捻転症を疑う血管の捻転所見に対して、技師の一次所見では初めて見る所見であり、気付くことができなかった。

【まとめ】本症例所見から、右腹部痛の症例では鑑別疾患の一つとして考えることが必要と思われる。

15. 下肢CTAにおける2断面テストインジェクション法の検討

JCHO 埼玉メディカルセンター
放射線技術部

○鈴木 優太、奥田 圭二、北山 貴章
中島 一晴、折原 博幸、田島 大

【目的】下肢CTAにおいて撮影タイミングをCT透視機能を用いて、目視で検査担当技師が決定していたが、診療放射線技師の技量ならびに患者の循環状態や血管の狭窄具合によって、造影効果にバラツキが生じていた。改善策を循環器内科医ならびに放射線科医と検討し、撮影方法を2断面テストインジェクション法（以下、TI法）に変更、造影効果の最適化を目指した。この撮影方法について評価を行った。

【方法】腎動脈レベルの下行大動脈・膝窩動脈・足背動脈のCT値測定をすることでの物理評価、ならびに診療放射線技師と循環器内科医師の計10人程度による視覚評価を行った。

【結果】CT値を測定すると、CT値が350HU以上と大きなバラツキは改善された。視覚評価では、TI法で撮影された画像で作成された3D画像のほうが多く支持を得られた。

【まとめ】TI法によって、適正な造影剤投与量の範囲で造影良好な画像を撮影することができた。

16. 逐次近似応用再構成法の違いが頭部CTAに与える影響

埼玉医科大学病院
中央放射線部

○黛 大葵、佐々木 剛
平野 雅弥、戸矢 雅人

【目的】 当院における逐次近似応用再構成法 (Hybrid-IR) であるADMIREとSAFIREを比較し、それぞれの再構成強度 (以下、IR強度) が頭部CTAに与える影響について検討を行った。

【方法】 SAFIREとADMIREにて、IR強度0、1、3、5でのNPS・TTFを求めた。また血管径1mm・3mmの模擬血管ファントムを作成し、それぞれのFWHMの測定および視覚評価を行った。

【結果】 NPSに大きな差は見られなかったが、TTFはADMIREで良好な結果となり、10% TTFでSAFIRE強度5は0.71cycle/mm、ADMIRE強度5は0.92cycle/mmであった。FWHMは、ADMIREではIR強度を上げるほど小さくなり、1mm血管でSAFIRE強度5は1.95mm、ADMIRE強度5は1.76mmであった。

【結語】 ADMIREはSAFIREと比較して、血管描出能に優れていた。

17. 当直帯におけるETUDE (Expect The Unexpected diseases in Emergency) リスト運用の有用性についての検討

三郷中央総合病院
放射線技術科

○大原 諒太、松村 裕太
市村 孝、中山 勝雅

【目的】 当直時において、当院で技師・医師共にCTの緊急所見を見逃すインシデントが発生。対策として、緊急所見をリスト化したETUDEリストを用いた画像チェックの運用を開始した。その有用性について検討する。

【方法】 運用開始後一年分のリストを集計し、正診率・偽陰性率を算出した。

【結果】 全体の異常所見70件のうち、正診数は49件、偽陰性数は21件となった。そのうち急性期の所見で、ETUDEリストによって判別できるものは全体で23例であり、技師が正しく異常所見をチェックできたのがそのうちの20例 (87%) であった。

【結論】 以上より、ETUDEリストの運用は急性期病変においては見逃し防止に有用であるといえる。想定外病変のピックアップにも効果を期待したが、結果から有用であると断定はできない結果となった。定期的なETUDEリストの集計と振り返りで、技師の読影力向上に期待したい。

一般演題V CT2

第1会場（国際会議室） 14：40～15：20

座長：さいたま赤十字病院 池野 裕太

18. 低線量肺がんCT検査における撮影条件と至適kernelの検討

石心会さやま総合クリニック
放射線室

○菊地 春那、岡田 良祐、馬場圭一郎

【目的】低線量肺がんCT検査の撮影条件と至適kernelの検討を行う。

【方法】①Sn filterの有無においてCTDIvolを2.0mGyに設定しファントムを撮影した。KernelをBrとBlで56、60、64に変化させてSD、NPS、MTFを測定した②Sn filterありでCTDIvolを0.5mGyに設定し胸部ファントムを撮影した。Kernelを①と同様に変化させて技師10人で正規化順位法を用いて視覚評価を行った。

【結果】①SDは全てのKernelにおいてSn filter有りの条件で低下した。NPSはBrよりBlで高値となり、数値が小さい程高周波数側で顕著に低下した。MTFはBrよりBlでピーク値が向上し、数値が大きい程ピークの周波数が高周波側にシフトした。②Bl56が最も順位が高く、2番目のBl60に対しては有意差なしとなった。

19. 頭部単純CT検査の画像処理作業をAIへのタスクシフトの検証

埼玉医科大学総合医療センター
中央放射線部

○千葉 南、後藤 朝陽、星野 優歩
渡邊 夏未、栗原 良樹、中根 淳

【目的】Artificial Intelligence(AI)の進歩により、画像処理を人から機械へタスクシフトできる可能性がある。そこで機械と人による画像再構成の再現性と処理時間を比較し検討を行った。

【方法】臨床において想定内と想定外のポジショニングに対するシナリオで検証した。4人の診療放射線技師が同じ症例の再構成をし、機械で再構成された画像と比較した。再現性の評価は画像のミスレジストレーションを定量化し、処理時間はシナリオでの比較と臨床での比較を行った。

【結果】両シナリオで、機械の画像再構成は人間と比べると処理時間が短縮され、画像のミスレジストレーションも少なかった。臨床では、機械による画像処理で時間が約80%削減された。

【結論】頭部単純CT検査の画像処理作業をAIにタスクシフトすることは可能であり、機械による再現性と処理時間は人間を凌駕する可能性があることを明らかにした。

20. 64列CT装置の高速撮影における撮影条件の組み合わせが画質に与える影響

埼玉医科大学総合医療センター
中央放射線部

○峯村 祐美、中根 淳、栗原 良樹

【目的】体幹部CT検査では、体動や息止め不良への対策に高速撮影を選択することがある。当院の64列CT装置は、pitchでFOVが制限され、回転速度で収集方式も制限されてしまう。そこで最適な高速撮影の撮影条件の組み合わせをファントムで検討した。

【方法】高速撮影の撮影条件は2つとし、Aは回転速度0.3s/rot、pitch0.8、Bは回転速度0.5s/rot、pitch1.4とし、撮影時間が限りなく一致するようにした。検討項目は、面内および体軸の空間分解能、CT-AECの動作、アーチファクトとした。

【結果】面内の空間分解能とCT-AECの動作は顕著な差を認められなかったが、体軸の空間分解能はBの方が良好な結果であった。アーチファクトはBの方が若干低減されていた。

【結論】高速撮影の最適な撮影条件の組み合わせは、Bの回転速度 0.5s/rot、pitch1.4であることを明らかにした。

21. CT値と骨密度における相関関係の比較と検討

JCHO埼玉メディカルセンター
放射線技術部

○中島 一晴、横田 龍士、田島 大
折原 博幸、北山 貴章、奥田 圭二

【目的】DXAの骨密度測定値とCT値における相関性の有無を検討する。

【方法】1カ月以内にDXAとCTの双方を撮影している患者を対象とし、DXAで得られた値およびCT値を測定した。DXA、CTともに椎体ごとに測定し、L1～L4の検査結果を用いた。CT値は解析ソフトZIOを用い、ROIを置き測定した。相関性を調べるために骨密度測定値とCT値のグラフを作成した。症例対象は過去1年間の45椎体で検討を行った。

【結果】DXAで得られた骨密度の検査結果が高くなるにつれ、CT値も高くなる傾向が見られた。しかし、バラツキも少なくなかった。

【考察】骨密度測定値とCT値で相関性はあるものと考えられた。バラツキはROIの置き方などが影響していると考えられる。

【まとめ】DXAの骨密度測定値とCT値において相関性はあるものと考えられた。

一般演題Ⅵ CT3

第1会場（国際会議室） 15：30～16：00

座長：埼玉医科大学総合医療センター 白石 健吾

22. 歯科CBCTにおけるFOVの違いによる画質変化の検討

上尾中央総合病院
放射線技術科

○迫村 京香、蛭原 彩、西 明里
嶋崎 恭介、菱沼 寛訓、藤井 紀明

【目的】当院では、歯科CBCTにおいて可能な限り小さいFOV(field of view)を用いるが、FOVの違いが画質に及ぼす影響は明らかでない。そこでFOVの違いが画質に及ぼす影響を明らかにする。

【方法】撮影条件はAutoとし、FOVを①W40×H40(以下、40、40)②40、80③80、40④80、50⑤80、80とした。各条件でワイヤー、ウォーターファントムをそれぞれ3回撮影し、Modulation transfer function(MTF)、Noise power spectrum(NPS)を算出した。また頭部ファントムを撮影し①～⑤の歯牙の鮮鋭性および粒状性について5段階で視覚評価した。

【結果】MTF・NPSは、FOVによる違いを認めなかった。視覚評価は鮮鋭度、粒状性ともに有意差を認めなかった。

【結語】歯科CBCTにおいて、FOVの違いは画質に影響を及ぼさないことが明らかになった。

23. 口腔領域における歯科用CTと医科用CTの画質比較

埼玉医科大学総合医療センター
中央放射線部

坂巻 愛莉、松澤 浩紀、中根 淳

【目的】当院に、歯科用CTに対応した歯科用X線診断装置が導入された。歯科用CTは高い空間分解能を有するとされているが、医科用と性能を比較した報告は少ない。そこで歯科用CTと医科用CTの画質比較を行った。

【方法】空間分解能と金属による影響を定量的および視覚的に評価した。歯科用CTは撮影モード、FOV、回転範囲を変化させた条件とし、医科用CTは臨床で使用される撮影条件で評価を行った。

【結果】MTFを用いた空間分解能は、歯科用CTが医科用CTよりも高い値を示した。金属による影響を位置パラメータで比較すると、医科用CTが低い値を示し、視覚的にも金属の影響が抑えられていた。

【結論】歯科用CTは、医科用CTよりも高い空間分解能を有していた。しかし、金属からのアーチファクトは医科用CTの方が画像に与える影響が少ないことから、金属がない症例で歯科用CTの有用性が示唆された。

24. 歯科CBCTにおける180度撮影モードの至適再構成フィルタの検討

上尾中央総合病院
放射線技術科

○高橋 怜央、谷上 明、吉田 友樹
菊地 一成、飯泉 隼、藤井 紀明

【目的】 当院では、歯科CBCTの撮影は360度撮影モードを使用しているが、疼痛を伴う患者や小児では体動の影響を考慮し、短時間撮影が望ましい。そこで撮影時間の短い180度撮影モードを使用することを前提とし、180度撮影モードの至適再構成フィルタについて検討した。

【方法】 ウォーターファントム・ワイヤーファントム・頭部ファントムを使用し、得られた生データに5種類の再構成フィルタ(D1、D2、G1、G3H201、G3H205)を用いた画像を作成した。各画像のMTF・NPSを算出し、歯槽骨の鮮鋭度と粒状性について視覚評価を行った。

【結果】 MTF・NPSはG3H205が最も高値となった。視覚評価では鮮鋭度で、G3H205が最も良い結果となったが、その他の再構成フィルタ間や粒状性では有意差は認められなかった。

【結語】 180度撮影モードの至適再構成フィルタはG3H205であることが示唆された。

一般演題Ⅶ MRI

第2会場（市民ホール401） 9：50～10：30

座長：埼玉医科大学国際医療センター 妹尾 大樹

25. MultiShot-EPI法の撮像条件の基礎的検討

石心会さやま総合クリニック
放射線室

○加藤 佑基、赤尾 裕康、坂口 功亮

【目的】頭部MRI検査で撮像しているT2*WIの撮像時間を短縮するために、FLASHとMultiShot-EPI(以下、MS-EPI)を比較し、MS-EPIの撮像条件検討を行った。

【方法】コントラストとSNRは、白質・灰白質・脳脊髄液の模擬ファントムを撮像した。撮像条件は、FLASHは現ルーチン、MS-EPIはTRとFlip Angle(以下、FA)を変更した。磁化率の影響は、空気ファントムを両シーケンスで撮像し、周波数と位相方向のプロファイルを測定した。

【結果】コントラストは、TRが長くFAが低いほど、SNRは、TRが長くFAが高いほど高い傾向を示した。磁化率の影響は、周波数方向はFLASH、位相方向はMS-EPIが大きくなった。

【まとめ】MS-EPIを用いることでコントラストとSNRが同等であり、撮像時間短縮が行えた。しかし、磁化率の影響は考慮する必要がある。

26. 圧縮センシングを用いた肩関節MRIの検討

埼玉医科大学病院
中央放射線部

○町田 友紀、仁藤 真吾、近藤 敦之
采澤 大志、渡部 進一、平野 雅弥

【目的】当院の肩関節MR Arthrographyは3方向の脂肪抑制T2WIを撮像している。今回、撮像時間の短縮を目的として、3D撮像に圧縮センシング(以下、CS)を併用し有用性を検討した。

【方法】CS Factor10から25の画像に対し、放射線科医3人、技師13人による視覚評価を行い、Kruskal-Wallis検定・Steel-Dwass検定で有意差を求めた。またSSIMによる物理評価を行った。

【結果・考察】Coronalでは、隣接するCS17とCS18で有意差が認められた。Axialでは、隣接するCS間で有意差は認められなかったが、CS17とCS19で有意差が認められた。Coronalでは、腱板が観察しやすいことが隣接するCS間で有意差が認められたことに寄与したと考えられる。

【まとめ】CS17までを用いることで診断可能な画像を担保し、撮像時間を短縮できることが示唆された。

27. 当院の頭部MRI撮像におけるネックカラーを使用した体動抑制の有用性の検討

三郷中央総合病院
放射線技術科

○野上 由樹、森下 沙羅、松村 裕太
市村 孝幸、中山 勝雅

【目的】頭部撮像のモーションアーチファクトに対してネックカラーが有用との報告がある。当院のMRI装置にてネックカラーの使用が有用であるかを検証した。

【方法】MRI撮像条件はPROPELLA法を用いたFLAIRで行った。実験の説明と同意を得たボランティアを対象に、ネックカラーの装着有無での左右・上下・ランダム動きをそれぞれ撮像した。診療放射線技師がそれぞれ、視覚的に5段階評価した。

【結果】PROPELLA法のみよりもネックカラーを付けることで、モーションアーチファクトが改善された。

【考察】ネックカラーを使用することで、頸椎の屈曲および下顎骨の運動が制限された。体動の起因となる要素を軽減することができ、今後の運用について有用であると考ええる。

【まとめ】ネックカラーにおけるモーション抑制効果はあると考える。実際の臨床では患者によっては負荷が掛かるため、患者の状態を見て使用するか検討する。

28. オフセンターにおける拡散強調画像の歪み低減の検討

彩の国東大宮メディカルセンター
放射線科

○今野 翔太、安藤 希望
小保方 駿、中村 哲子

【目的】拡散強調画像で最も問題となるアーチファクトは歪みである。磁場中心から撮像間距離の変化における歪みの傾向を調べ、オフセンター撮像での歪みを低減させる因子の検討を行う。

【使用機器】GE社製SIGNA Explorer 1.5T、GEM Flex Arrayコイル。

【方法】容器に中性洗剤を封入した自作ファントムにて、各パラメータ（リダクションファクタ・位相FOV・周波数・位相マトリクス数）を変化させ、磁場中心とオフセンターにて撮像し、歪み率を算出した。

【結果】磁場中心から離れるほど歪み率が増加した。リダクションファクタの増加・位相FOV・周波数マトリクス数の減少で歪み率が低減されたが、位相マトリクス数を変化させても歪み率の低減は認められなかった。

【結語】リダクションファクタなどの各パラメータを変化させることで歪み率が低減した。またオフセンターになるほど歪みの改善が見られた。

一般演題Ⅳ 安全管理

第2会場（市民ホール401） 10：30～11：00

座長：上尾中央総合病院 小川 智久

29. 胸部CT検査における基準線量超過件数減少に向けた取り組み

メディカルトピア草加病院
放射線技術科

○海老原香織

【目的】 当院では、線量管理ソフトを用いてCT検査の基準線量超過件数を集計し、原因を検討している。その中で標準体型患者の胸部撮影において、体位不良および撮影範囲延長による基準線量超過件数が増加傾向であることが分かった。このことから件数減少に向けた取り組みを行った。

【方法】 CT検査に従事する技師に対し、適正な体位および撮影範囲に関する啓蒙活動を実施した。啓蒙活動の効果を検証するため、啓蒙活動後に撮影した患者の中から過去データがある患者を抽出し、CTDIvol・DLP・スキャン長をそれぞれ比較した。また全検査中の体位不良および撮影範囲延長の件数の推移を検証した。

【結果】 啓蒙活動後のCTDIvol・DLP・スキャン長は5～10%減少した。また体位不良および撮影範囲延長の件数は減少傾向となった。

【考察】 技師の意識の変化により基準線量超過件数が減少したことから、啓蒙活動の効果が得られたと考えた。

30. 水晶体測定用線量計導入による術者の被ばく管理について

三郷中央総合病院
放射線技術科

○松本 大生、松村 裕太、市村 孝幸
澤田 英二、中山 勝雅

【目的】 当院では、水晶体を頭頸部用線量計で管理していたが、カテーテル検査をしている医師の被ばくが5年間に100msvを超える恐れがあること、検査中は防護メガネを装着していることなど、正確な測定のため水晶体測定用線量計のデジタルを導入することにした。デジタル導入により、術者の被ばく管理が適切に行われているか検討する。

【方法】 医師3人の3カ月間の不均等被ばく、デジタルを測定し月ごとに線量を超えていないか確認する。

【結果】 3人とも不均等被ばくよりデジタルの測定結果は低かった。しかし、治療件数や時間が多い月は1.67mSvを超えているときもあった。

【考察】 デジタルの測定結果の方が低いことから、導入により水晶体の被ばくは適切に管理できているといえる。

【まとめ】 防護メガネ内のため、測定値は低くなる。適切に管理できているといえる。

31. 演題取り下げ

演題取り下げ

一般演題区 その他

第2会場（市民ホール401） 11：10～12：00

座長：小川赤十字病院 廣田 絵美

32. 当院放射線科における感染対策の意識向上への取り組み

JCHO 埼玉メディカルセンター
放射線技術部

○北山 貴章、加藤 友衣、横田 龍士
川久保優妃、折原 博幸、奥田 圭二

【背景】われわれ診療放射線技師が医療関連感染を起こさないためには、撮影前後での擦式アルコール消毒液による手指消毒が効果的である。

【目的】放射線科での感染対策の意識を向上し、接触感染減少を試みる。最終的に病院全体の医療関連感染を減少させることに繋げていく。

【方法】擦式アルコール消毒液を個人で持ち、撮影前後での手指消毒を徹底する。放射線科全体におけるアルコール使用量を毎月算出し、手指消毒の意識向上をする。

【結果】放射線科でのアルコール使用率が向上し、院内全体のMRSAも減少した。

【考察】他部署も含めた職員一人一人が対策を意識すれば病院全体に効果を出し、入院・外来患者に対しての接触感染減少に繋がっていくと考える。

【結語】感染症は見えていないものも多くあり、放射線技師の手、FPDなどを通しての接触感染は最も注意が必要である。今後も1人1人が感染対策の意識を持ち続けていくことが大切である。

33. 急性虫垂炎疑いにおける超音波検査からCT検査につながる症例の検討

埼玉県立小児医療センター
放射線技術部

○佐藤 克哉、畠山 祥一、茂木健太郎
牧 隆史、松本 慎

【目的】急性虫垂炎疑いにおいて、CT検査が追加で必要となった超音波検査の要因を分析する。

【方法】急性虫垂炎が疑われた超音波検査124例を対象とし、後方視的に検討を行った。

【結果】CT実施症例は、正常54例中13例、カタル性9例中0例、蜂窩織炎性32例中1例、壊疽性・穿孔性29例中8例であった。CT検査の有無は超音波検査での虫垂描出の有無について有意差を認めた。

【考察】CT必要症例は超音波検査で虫垂描出が得られない虫垂炎否定目的のもの、または腹膜炎や膿瘍など広い炎症波及が疑われたものであった。虫垂は便塊などにより描出が困難なことも多い。また壊疽性・穿孔性まで進行しているものは圧迫困難であったり、観察範囲が広いため、CTが実施されると考えられる。

【まとめ】超音波検査にて虫垂全体を描出すること、炎症波及の程度や範囲を明確に描出することで、不要なCTの減少へとつながることが示唆される。

34. SPECT/CTにおける脳血流シンチグラフィでの吸収補正の検討

JCHO 埼玉メディカルセンター
放射線技術部

○御厨 香名、馬場 俊明、奥田 圭二

【目的】 当院では機器更新に伴い、新たにSPECT/CT装置が導入された。核医学検査でCT撮影をするメリットとして、集積部位からの γ 線を正確に捉えることが可能である。そこで、 γ 線の吸収の影響を受けやすい脳血流シンチグラフィにおける吸収補正の違いで、どのように変化するのか検証した。

【方法】 脳血流シンチグラフィの検査を行った患者データを基に、3つの吸収補正による処理を行い、画像診断補助ソフトを使用してカウント数を比較し検討する。

【結果】 FBP法Chang補正とOS-EM法Chang補正を比較した場合、ほとんど同じカウント数であった。FBP法Chang補正とOS-EM法CT補正の比較では、OS-EM法CT補正のカウント数が多くなった。

【考察】 CTによる吸収補正を利用することで、本来の集積程度を再現することが可能になり画像が明瞭に描出されると考えられる。

35. Saitama Stroke Network(SSN)における来院から治療までの迅速化に対する放射線科の工夫

埼玉県済生会加須病院
放射線技術科

○松崎 千波、岩井 悠治
小野寺将真、宝田 順

【目的】 当院ではSSNの基幹病院として、血栓回収症例における再灌流時間に至る時間短縮に向けた取り組みが開始された。今回、われわれは診療放射線技師が関わるCT・MRIの時間短縮について検討をした。

【方法】 CT・MRIのStroke用プロトコルを新たに作成し、来院から入室準備・画像診断に至るまでのワークフローを見直した。

【結果】 CT・MRIの画像診断に至るまでの時間が短縮された。

【考察】 Stroke用のプロトコルを作成した結果、撮影時間の効率化、必要最小限の画像構築が図られた。

【まとめ】 これまでの改善に当たり、多職種とのカンファレンスも定期的に行って検討をしてきた。急性期疾患への迅速な対応におけるチーム医療の重要性を感じた。

36. 骨密度検査の精度向上への取り組み

さいたま市立病院
中央放射線科

○大角 哲也、佐藤 吉海

【目的】 骨密度測定 (DXA) は、患者のポジショニングと解析対象領域の再現性が重要である。そこで骨密度検査トレーニング前後の解析結果の違いについて調査した。

【方法】 骨密度の勉強会を開催し、勉強会前後の解析結果を比較した。対象画像は、勉強会前の腰椎219症例、大腿骨245症例と勉強会後の腰椎130症例、大腿骨146症例、比較項目は、椎体のROI中心からのズレと傾き、大腿骨骨幹部の傾きと内外旋位、ROIとボーンエッジ設定とし、技師歴17年の技師が良・可・不可の3段階で評価した。

【結果】 腰椎解析のボーンエッジ設定のみ、良の割合が減少し、大腿骨でもボーンエッジ設定は良の増加率が低かった。

【考察】 骨密度検査経験数以外に、装置から表示される画像の特性を把握する必要があると推測される。

【まとめ】 勉強会の重要性和装置の特性を把握する必要性があることが分かった。

一般演題X 治療

第2会場（市民ホール401） 12：40～13：20

座長：済生会川口総合病院 眞壁 耕平

37. 前立腺癌放射線治療における3種のポータブル超音波装置の膀胱容量測定精度の比較

彩の国東大宮メディカルセンター
放射線科

○山本 楓汰、山口 陽平、中村 哲子

【目的】前立腺癌に対する放射線治療では、膀胱線量を減らすため膀胱容量を治療計画時と同等量まで蓄尿する必要がある。本研究の目的は、3種の超音波装置による膀胱容量測定精度について客観的に明らかにすることにある。

【方法】照射直前のCBCTの膀胱容量を基準値とし、①iViz air ver.5②Cube Scan BioCon-900③BladderScan BVI6100の超音波装置から得られた測定値との誤差率と測定のSD値を比較した。

【結果】基準値との誤差率および測定のSD値は、②①③の順で小さかった。

【まとめ】①②は画像上で膀胱を確認するため測定値のバラツキが小さい。③は画像表示機能がなく測定値のバラツキが大きいが、測定回数を増やし平均値を用いることで基準値に近づけることができる。

38. 吸引バッグの種類ごとの放射線減弱率と放射線治療計画装置による線量計算の比較

彩の国東大宮メディカルセンター
放射線科

○藁谷 瞭太、山口 陽平、中村 哲子

【目的】4種類の吸引バッグのX線減弱率を測定、治療計画装置での線量計算値と実測値を比較し、吸引バッグが治療計画に与える影響を明らかにすることを目的とした。

【方法】水個体ファントムに4種類の吸引バッグ(CIVCO社Vac-Lok、Elekta社blue Bag、Qfix社Vac-Qfix、フジデノロ社 吸引クッション)を5cm厚に形成したものを乗せ、6MV、10MV X線基準条件の水吸収線量を測定し、X線源弱率を算出、治療計画装置の値と比較した。

【結果】吸引バッグによるX線減弱率は6MV、10MVでそれぞれ1.81～1.13%、1.49～0.80%であった。治療計画装置と実測値の比較では、線量誤差が0.3%程度であった。

【まとめ】吸引バッグによるX線減弱率は、一番高いもので1.8%であるが、治療計画装置で吸引バッグを含めて計算することによって線量誤差を0.3%程度に抑えることができる。

39. 放射線治療用マーカを使用した前立腺IMRTにおける治療時間の変化

埼玉医科大学総合医療センター
中央放射線部

○大竹 綾乃、吉澤 孝郁、轟 圭介
大根田 純、鳥越 翔、福多 寛弥

【目的】前立腺IMRTにおける放射線治療用マーカVISICOIL（以下、金マーカ）を用いたX線画像誘導装置（以下、ExacTrac）での位置照合における治療時間短縮の有用性を評価する。

【方法】金マーカを用いてExacTracで位置照合を行う群と、マーカレスでCBCTにて位置照合を行う群に対し照合時間の比較を行った。

【結果】ExacTracはCBCTより1回当たりの撮影時間が約1分短く、位置照合により照合に有する時間も約30秒短い結果となった。

【考察】金マーカを用いたExacTracで位置照合により、画像の取得時間と照合時間が短縮し、全体の治療時間短縮につながったと考える。また治療時間が短縮されたことで一日当たりの治療件数の増加も期待できる。

【まとめ】金マーカを用いたExacTracでの画像照合により照合時間が短縮された。従来よりも短時間で治療が可能となり有用性がある。

40. 放射線治療計画CTにおける金マーカを考慮した画像再構成条件の検討

埼玉医科大学総合医療センター
中央放射線部

○宮下明日香、吉澤 孝郁、塩澤 努
保坂 勝仁、金親 佑弥、深田 拓磨

【目的】前立腺IMRTにおける放射線治療用マーカVISICOIL（以下、金マーカ）を考慮した金属アーチファクト低減処理（以下、MAR）の有用性と画像再構成方法による影響を評価する。

【方法】金マーカを設置した骨盤ファントム画像に対してMARの有無など再構成条件を変更し、軟部組織と金マーカの見やすさ、金属アーチファクトの影響を視覚評価した。また各画像をImageJにて評価した。

【結果】視覚評価はMARあり画像の金属アーチファクトに対する評価が良好であった。ImageJによる解析は、MARの有無による差が確認された。

【考察】MARの使用により金マーカの視認性と画像自体の見やすさも向上したと考えられる。これらより当施設における金マーカを考慮した画像再構成条件を決定する一因となった。

【まとめ】視覚評価と物理評価を行うことで、MARの有用性と再構成方法の違いによる影響が明らかにできた。

一般演題XI Angio・透視

第3会場（市民ホール404） 11：40～12：10

座長：上尾中央総合病院 茂木 雅和

41. 経皮的心房中隔欠損症閉鎖術(ASO)においてサイジングバルーンを用いたマニュアルキャリブレーションの有用性

埼玉県立小児医療センター
放射線技術部

○藤畑 将理、田中 宏、菅原亜梨沙
春日 沙織、佐越 美香、松本 慎

【目的】経皮的心房中隔欠損症閉鎖術（ASO：Amplatzer Septal Occluder）では、欠損孔の大きさをX線画像にて距離計測を行う。欠損孔に挿入されたサイジングバルーンが、必ずしもX線入射方向と直行しているとは限らないため実寸との差を比較検討する。

【方法】サイジングバルーンのシャフトに付随した10～15mm長のマーキングを用いてマニュアルキャリブレーションを行い、心臓の高さで直径50mm長のアクリルボールを撮影し、距離計測を5人の測定者で行う。

【結果】測定者の誤差はそれぞれ0.4%～7.8%であり、平均は4.6%であった。

【考察】平均4.6%の測定誤差は、目視での限界によるものなどと思われる。当センターでは誤差10%以内の精度を目安としており、今回の結果は許容範囲内と考えられた。

【まとめ】サイジングバルーンに付随するマーキングは、マニュアルキャリブレーションで使用可能と示唆された。

42. 消化管撮影の線量低減の取り組み

埼玉県済生会加須病院
放射線術科

○鈴木 孝義、脇谷 正行
丸山 和宏、宝田 順

【背景・目的】被ばく低減施設認定の更新に伴い、X線TV装置の消化管透視条件を見直し、被ばく線量低減を検討したので報告する。

【方法】透視レート(15f/s、7.5f/s)、線質フィルタ(Alフィルタ：1.2mmアルミニウム、Tnフィルタ(T1：0.015mmタンタル、T2：0.03mmタンタル))を変化させた時の以下の項目について検討した。①バーガーファントムの透視画像を収集し、得られた画像のIQFを算出した②GSIGIファントムで視覚評価をした③アクリルファントムに線量計を設置し、線量を測定した。

【結果】AlフィルタからT1フィルタに変更しても画質に有意差はなかった。AlフィルタからTnフィルタに変更すると線量が低減し、透視レートを15f/sから7.5f/sに変更すると約50%の線量が低減した。

【まとめ】検査プロトコルの見直しを図り、消化管検査における被ばく線量の最適化が行えた。

43. 造影コーンビームCTの希釈倍率の定量評価

彩の国東大宮メディカルセンター
放射線科

○西澤佑吉朗、保坂隆之介、中村 哲子

【目的】再灌流を可能とするステントは透視化で視認性が低い。そこでステントと血管の位置関係の評価するために、造影コーンビームCTを撮影する。本研究では、ステント圧着評価に必要不可欠である希釈倍率を定量評価し、適正な希釈倍率を明らかにする。

【方法】自作ファントムにて、各希釈倍率でステント・希釈造影剤・バックグラウンドのデジタル値を算出し、適正な希釈倍率をdigital contrast relative value法で評価した。また撮影画像を当院の診療放射線技師にて視覚評価した。

【結果】希釈倍率が高くなるほどステントと造影剤のコントラストが高くなり、造影剤とバックグラウンドのコントラストが低くなった。

【考察】本研究により、血管造影システム固有の適正な希釈倍率を決定することが可能となったと考えられるが、今後、ステントの種類が変わる度に、血流動態などの因子も考慮しながら再検討を行う必要がある。

埼玉県診療放射線技師会 電子ブックシステムのお知らせ

当会では、1954年からの会誌を電子ブック化（e-book）することになりました。
現在は、2000年まで閲覧できるようになっておりますが、順次拡大していく予定です。
当会ホームページ内、「埼玉県診療放射線技師会 電子ブックシステム」にアクセス（または下記URL、QRコード）していただき、ログインID・パスワードを入力の上、ご覧いただけます。
パスワードは毎年変更する予定となっており、今後、会員の皆さまには会誌でご案内させていただきます。

アクセスURL : <https://e-books.sart.jp/sart/login.html>



2023年度用

ログインID : sart_e-book2022

パスワード : sartmember2023



ログインはこちらから

ログインIDを入力	→	ユーザー名
パスワードを入力	→	パスワード
		ログイン

(公社)埼玉県臨床検査技師会主催の講習会を 診療放射線技師が会員価格で受講ができます。

このたび、職能団体のチーム医療を目的として、(公社)埼玉県診療放射線技師会と(公社)埼玉県臨床検査技師会で、お互いが企画する講習会を会員価格で受講することができる取り決めを行いましたのでお知らせ致します。

これまで職能団体の役員同士の交流はありましたが、会員同士の交流の機会はあまりありませんでした。最近では、診療放射線技師が心電図や血液データなどに興味を持ち、臨床検査技師の方が画像に興味を持っていると聞きます。そこでお互いの会員レベルの学術的交流を目的として企画致しました。

今後は、他職種との学術的な交流を深めるきっかけになればと考えております。



埼玉県診療放射線技師会 メールマガジンのご案内

当会では、イベントや勉強会情報があるときに、不定期でメールマガジンを配信しております。登録数は徐々に増えてきておりますが、まだまだ少ない状況です。そこで、今回このようなページを企画いたしました。ご覧の皆さまには、ぜひ当会ホームページよりメールマガジンにご登録いただけますようお願い申し上げます（お名前とメールアドレスだけで登録できます）。

以下、No.93 で配信したメールマガジンの例です。多くの皆さまの登録をお待ちしております。

【埼放技メールマガジン】 No.93 ▼編集情報委員会からのお知らせ▼

埼放技メールマガジンのご利用ありがとうございます。
学術案内などの日程を埼玉県診療放射線技師会 HP に掲載しております。
<http://www.sart.jp/>

第35回日本診療放射線技師学術大会（埼玉県開催）
開催日：2019年9月14日（土）から16日（月・祝）
会場：大宮ソニックシティ

◆…—【近日開催イベント・お知らせのご案内】—…◆

- 平成31年4月16日（火）締め切り 告示（2019・2020年度 役員選挙について）
【支部】 <http://www.sart.jp/radiotech/branch/> からお進みください。
平成31年1月24日（木）第四支部勉強会のお知らせ
平成31年1月24日（木）第五支部情報交換会のお知らせ
【学術案内】 <http://www.sart.jp/radiotech/information/> からお進みください。
平成31年1月25日（金）第1回SART 学術ナイトセミナー～本当に理解している？ DR、CT の撮影条件と線量管理～
平成31年1月26日（土）平成30年度胸部認定試験開催のお知らせ
平成31年1月26日（土）第6回サイコメ実臨床セミナー「災害医療」一緒に学びませんか！
平成31年2月2日（土）第29回埼玉県大腸がん検診セミナー
平成31年2月2日（土）地元開催の全国大会で研究成果を発表しよう～研究発表支援セミナー～
平成31年2月9日（土）日本放射線公衆安全学会 第28回講習会 プログラム
改正RI法における医療現場の対応の最終準備
平成31年2月15日（金）第43回SAITAMA MRI Conference ご案内
平成31年2月22日（金）第75回埼玉CT Technology Seminar 開催のご案内
平成31年2月24日（日）平成30年度SART TART 支部合同勉強会骨軟部撮影セミナー2019
【埼放技メールマガジン】
アドレスの変更・削除などは、以下のアドレスへご連絡ください。mail_magazine2007@sart.jp

賛助会員さまへのお知らせ

編集情報委員会常務理事

清水 邦昭

会誌「埼玉放射線」への“技術解説・広告”のご依頼

日ごろから埼玉県診療放射線技師会へのご支援・ご協力ありがとうございます。
“2023年度賛助会員さま”の特典の一つに、会誌「埼玉放射線」に技術解説・広告掲載があります。

会誌掲載投稿のお願いを申し上げます。詳細については以下に記します。

掲載内容：技術解説（製品紹介）A4 3頁 + 広告A4 1頁 = 計 4頁

会誌「埼玉放射線」発行月：1月・5月・7月・10月となります。

原稿締め切り：発行月1ヵ月前の第1月曜日までに電子メールでお送りください。

なお、掲載希望月は賛助会員さまでお決めいただき、あらかじめ電子メールにてお知らせください。

また、1企業さまにつき年度内に1回の掲載とさせていただきます。

(2023年7月・10月・2024年1月・5月発行月までに1回)

原稿詳細：以下に示します。

企画書および執筆要綱

埼玉放射線「技術解説（製品紹介）」

企画協力：(公社) 埼玉県診療放射線技師会 会誌「埼玉放射線」

企画意図

急速に進歩する医療業界においては、常に最新機器や医薬品・放射線被ばくの観点から、施設や線量測定技術などの情報、今後の動向を探ることが重要である。広い視野を持った業務遂行、被ばくに関する説明など、今後における業務の一助となることを目的とする。

対象読者

「埼玉放射線」の読者である(公社) 埼玉県診療放射線技師会の会員（診療放射線技師）、「埼玉放射線」の配布先関係者（発行部数1561部）。

「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」

編集情報委員会

常務理事 清水 邦昭

本会会員は、専用アカウント（ID/PW）を用いてメディカルオンライン無料閲覧サービスを受けることができるようになりました。

※メディカルオンライン（Medical Online）とは、医学論文をダウンロード提供する医療の総合ウェブサイト。医学文献の検索全文閲覧をはじめ、医薬品・医療機器・医療関連サービスの情報を幅広く提供する、会員制の医学・医療の総合サイト。

サービスの内容：メディカルオンラインに掲載の本会会誌「埼玉放射線」（全文・アブストラクト）、および他学会誌アブストラクトを無料で閲覧・検索することができます。

2023年度アカウントについて
＜～2024年3月末日まで有効＞

学会さま専用ID：1100007180-08

パスワード：a65bdpfd

雑誌名：埼玉放射線

雑誌URL：<http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ew2saita>

貴会雑誌URLをクリックしますと、機関誌アーカイブ画面へ遷移します。

画面右側の会員認証欄に上記ID/PWご入力後、機関誌の閲覧が可能となります。

（添付：学会誌閲覧方法.pdfご参照）

*重要 アカウントの更新・移行期間に関して

専用アカウントは、1個発行し、年度ごと（4月～3月）で変更いたします。

次回は、2024年2月上旬に新アカウントを事務局さま（本Mailアドレス）へご案内いたします。

*メディカルオンラインでの検索は自由、アブストラクトは全誌閲覧可能です。

なお、埼玉放射線以外で全文ダウンロードボタンを押すと

「あなたは文献をダウンロードする権限がありません」と表示されます。

あらかじめご承知願います。

お知らせ

*メディカルオンラインご利用に際してのお願い

一定時間内に論文を大量にダウンロードする事は、会員規約で禁止事項としています。

◆メディカルオンライン会員規約◆

<http://www.medicalonline.jp/img/houjinkiyaku.pdf>

※大量ダウンロードが発生した場合

そのご利用端末に対し、最大で1時間の利用停止措置の案内がメディカルオンラインより自動配信されます。

配信後においてもさらに続きますと、メディカルオンラインのサーバーに必要以上の負荷が掛かるため本会専用アカウントの利用停止に至る場合があります。

株式会社メテオ

コンテンツ部

東京都千代田区神田須田町2-7-3

TEL : 03-5577-5877 FAX : 03-5577-5878



ベンダーニュートラルで豊富な 線量解析機能を有する Radimetrics

バイエル薬品株式会社
ラジオロジー事業部・中神龍太郎



1. はじめに

Radimetricsは、マルチモダリティに対応したWeb参照型の線量管理システムであり、日本の診断参考レベル (Dose Reference Levels (DRLs) 2020)^[1] および国際放射線防護委員会 (ICRP) 勧告に基づいた、線量管理指標の管理・記録に対応している。異なるベンダー、装置バージョン、モダリティから出力されるRDSR (Radiation Dose Structured Report)、RRDSR (Radiopharmaceutical Radiation Structured Report) やDose sheet、DICOM画像のタグから検査情報および線量情報を自動的に取得・統合し、検査ごとの照射線量や被験者の被ばく線量を管理・記録することができる。

2. Radimetricsの特長

2-1. CTにおける線量管理

Radimetricsでは、モンテカルロシミュレーションによりCT検査時の被験者の臓器吸収線量および実効線量を算出する。新生児用・妊婦用など、性別・年齢・体格に応じた50種類以上のボクセルファントムを備えており、妊婦ファントムを基にしたシミュレーションでは、胎児の吸収線量を算出することができる。モンテカルロシミュレーションでは、実際のCT検査データを基に再シミュレーションが可能であるため、撮影範囲を狭くした際の臓器吸収線量低減効果などを確認し、撮影プロトコルの最適化に役立てることもできる(図1)。

DRLsを活用し、最適な線量管理を進める上では、全ての放射線検査装置におけるプロトコ

ル名を矛盾なく識別することが重要となる。CTにおいては、使用するプロトコルをRadLex Playbookに紐づけ管理することが、プロトコル識別の一つの手順であるとされている^[2]。Radimetricsでは、RedLex Playbookへのプロトコル情報割り当て機能のほか、マスタープロトコル機能やプロトコル自動整理機能を備えており、さまざまなプロトコルをあらゆるグループへ紐つけて整理することが可能である。プロトコルの紐づけ作業を実施することで、異なる装置間におけるデータのミスマッチや重複を防ぎ、線量管理システム上で正確な線量分析が可能となる。

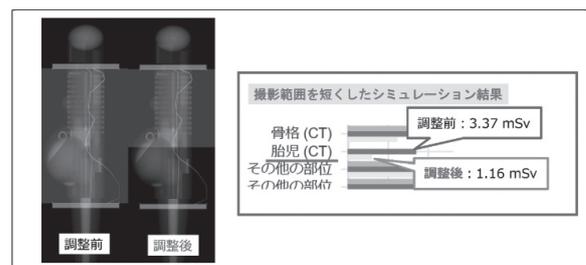


図1. モンテカルロシミュレーションによる撮影条件の検証例

2-2. 血管撮影における線量管理

一部装置に対しては、線量レポート画像から検査時の撮影線量や総線量、総透視時間などの線量情報を取得することができる。RDSRには線量レポート画像により出力される情報の他に、透視イベントごとの線量情報や各イベント時の幾何学的位置情報がレポートされている場合がある。この場合には、各撮影や透視における線量 (面積線量もしくは基準点線量) を時系列で表示する機能や、入射皮膚線量マップを作製する機能が使用可能である(図2)。近年の検査装置は、撮影、CBCTなどのプロトコル名が線量レポート画像やRDSR上で識別可能な形式で記載されているため、このような場合にはRadimetrics上で透視・撮影・CBCT (3D) の線量情報を切り分けて評価することが可能となる。

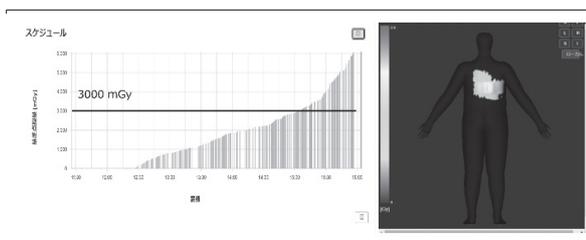


図2. 基準点線量の時系列表示 (左) および入射皮膚線量マップ (右)

2-3. 核医学検査における管理機能

核医学検査においては、画像のDICOMタグやRRDSR(Radiopharmaceutical Radiation Structured Report)から放射性核種投与条件を取得することで、検査情報・放射性核種情報・実投与量・実効線量 (ICRP pub. 128参照) を算出し、それらを一元的に管理することができる。また、PET/CTやSPECT/CT検査に対しては、CT撮影時の実効線量 (ICRP pub. 103参照) とあわせて管理も可能とする。

2-4. 換算係数を用いた実効線量計算機能

最新のRadimetricsソフトウェアバージョンであるVersion 3.4では、換算係数*を用いた実効線量の計算が可能である。これまではICRP publicationに準拠したかたちで、でCTと核医学のみに実効線量計算の機能を有していたが、他モダリティについても換算係数を設定することで、実効線量を計算することが可能となった。換算係数を用いた実効線量計算機能により、複数のモダリティ検査を受けた被験者における累積線量を実効線量で評価することが可能となる (図3)。

*ICRPなどの関連団体により換算係数がまだ公開されていない検査やモダリティにおいては、ご施設で係数を決定いただく必要があります

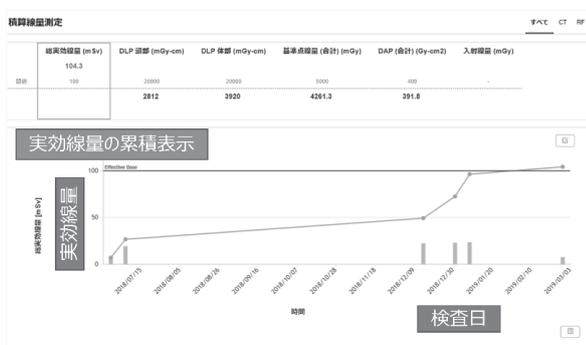


図3. 実効線量の累積値確認画面

2-5. Total Dose Management

当社のCT用インジェクタであるMEDRAD

StellantおよびMRI用インジェクタのMEDRAD MRXperionとの接続により、造影情報の管理も可能となる (図4)。注入の途中停止の有無や、注入された造影剤量などを、患者情報や検査情報と紐づけ自動的に記録することで、施設内における安全管理体制の構築を支える。また、造影検査の精度管理および造影条件の最適化にも役立てられる。線量情報・造影情報を一元的に管理することで、これまで以上に検査の安全性向上に役立てることができる。



図4. 注入時の途中停止の有無 (左) および注入速度波形 (右)

2-6. ユーザー向け会員限定サイト

豊富な機能を有するRadimetricsをより多くのユーザーさまにご活用いただくため、新たにRadimetricsユーザー向け会員限定サイトを開設した。現在会員限定サイトでは、簡易取扱説明書のダウンロード・操作説明動画の閲覧が可能である。いずれもRadimetricsを運用する上で、よくある質問事項をまとめたコンテンツとなっており、随時更新予定である。すでにRadimetricsを導入いただいているユーザーさまにはぜひ活用いただきたい。

*画像診断情報サイト Bayer in Radiology ; <https://radiology.bayer.jp/products/radimetrics>

3. 結語

Radimetricsの特長について紹介した。Radimetricsは、マルチベンダー・マルチモダリティに対応したベンダーニュートラルな線量管理システムである。マスタープロトコルやタグ付け機能など、DRLs2020を活用した線量管理を行う上で役立つ機能を有している他、モンテカルロシミュレーションや入射皮膚線量マップ表示、換算係数を用いた実効線量計算機能など、高度な解析機能も数多く兼ね備えている。また線量情報と造影剤情報を一元管理できるTotal Dose

Management機能により、一步進んだ施設内の安全管理体制構築に役立てていただけるものと考えている。

Radimetricsは、線量管理を行う上で有用となる情報を効果的に記録し、さまざまな解析機能を持って線量管理をサポートし、CT・MRI検査における造影情報を合わせて管理することで、施設内の安全管理体制構築支援を可能とする。

4. 参考文献

- [1] J-RIME: 日本の診断参考レベル (2020年度版) https://www.radher.jp/J-RIME/report/JapanDRL2020_jp.pdf, 2020.
- [2] Langloz CP: RadLex: a new method for indexing online educational materials. Radio-Graphics 26: 1595-1597, 2006

PP-RADI-JP-0231-04-12



捉えてますか？ 放射線線量の全体像

CT装置、血管撮影装置、核医学装置…。

検査装置から発生する画像データを自動で受信し、
検査で照射された放射線線量をもれなく一括管理することで、
患者様にとって、より安全・安心な検査環境を実現します。



- 被検者ごとに累積線量を表示する管理機能
- 線量の最適化に役立つCT線量シミュレーション機能
- 統計情報の作成・分析・解析がスピーディに行えるサマリーページ機能
- バイエル社製インジェクターとの接続による造影検査管理機能

製品に関する詳細情報は、各製品の取扱説明書、添付文書をご参照ください。

製造販売業者
バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
E-Mail: BYL-RAD-CS@bayer.com



製品の詳細は、
QRコードから
弊社Webサイトで
ご覧いただけます。



ベンダーニュートラル線量管理システム

Radimetrics
Enterprise Platform

Clear Direction. > From Diagnosis to Care.

PP-RADI-JP-0111-01-04

2023年度 第8回 DR計測セミナー開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
学術委員 戸澤 僚太

DR計測セミナーは、新型コロナウイルス感染症を考慮し、近年オンラインセミナーとして開催していましたが、本年度より従来の実習形式に戻して開催しました。

受講者は5人で、想定していた人数を下回りました。一般撮影関連の計測セミナーは、関東圏内では非常に少なく一定のニーズはあると考えていましたが、想定よりも関心が低いように思われました。今後は趣向を凝らして開催したいと考えています。

今回のプログラムは以下に記載します。座学では物理特性計測の基礎を内容としDQEの算出に必要な項目について講義がありました。実習1、2では、入出力特性・線質測定・MTF・NNPSの測定法に関して実習を行いました。実際のX線発生装置やFPD、各種測定デバイスを用い、画像取得時の注意点など、すぐにも自施設で測定できるような内容としました。実習3ではPCにてImage JとExcelシートを使用し、DQEを算出するまでの解析を参加者自身のPCで行いました。

受講者のアンケートからは講習会内容に関して満足度は高いように思われます。難易度に関しては、昨年度に比べ難しいという意見が少なくなり、少人数での実習形式によって理解度を高められたと考えられます。実習中は受講者からの質問が多く、有意義な時間を過ごせたと考えています。対面形式かつ少人数であったため、全ての質問に対応する時間の余裕があったこともあり、対面式のセミナーの重要性について強く感じました。

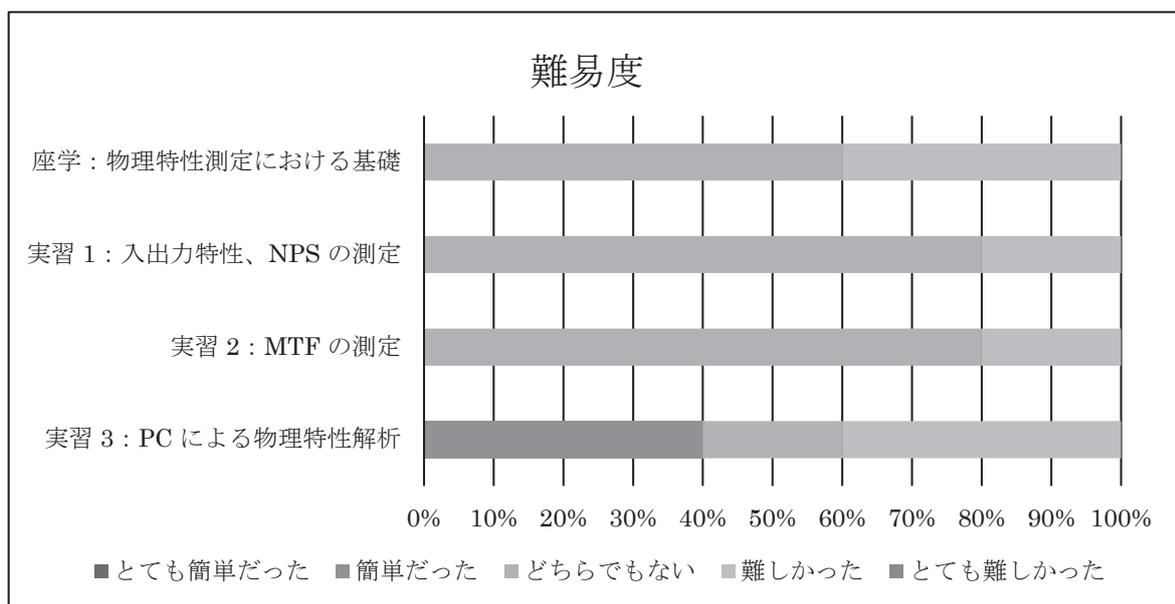
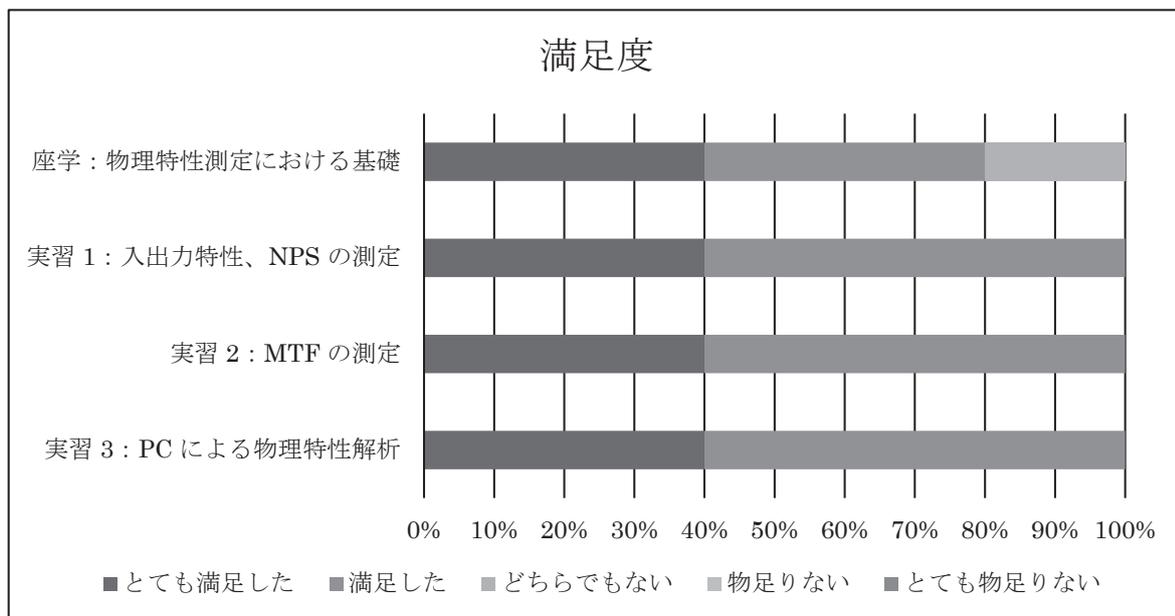
プログラム (敬称略)

12:30~	受付開始	
13:00~14:00	座学：物理特性測定における基礎	上尾中央総合病院 樋口 誠一
14:10~15:10	実習1：入出力特性、NPSの測定	埼玉医科大学病院 堀切 直也
15:20~16:20	実習2：MTFの測定	JCHO 船橋中央病院 滝口 泰徳
16:30~17:30	実習3：PCによる物理特性解析	済生会川口総合病院 戸澤 僚太

本会の動き

アンケート結果を以下に添付します。頂戴したアンケート結果をもとに、次回以降、参加者の皆さまにより有益な情報を提供できる講習会にしたいと考えています。最後になりますが、この度、参加していただいた受講者の皆さま、講師の皆さまにこの場を借りてお礼を申し上げます。

アンケート結果



[その他ご意見]

- ・自分だけでは解析や分からないことがたくさんあったので、研究会で聞けてとても良かったです。ありがとうございました。
- ・質問しながら実習ができたので非常に分かりやすかったです。
- ・スリット法やってみたいです。
- ・CTの測定なども開催して頂けたらぜひ参加したいです。

第8回Freedセミナー 開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
学術委員 小川 智久

2023年9月9日（土）に、4年ぶりの第8回Freedセミナーを当会の技師会センターで開催しました。「Freedセミナー」とは、10年後を見据え、次世代を担うであろう人材が横の繋がりを持ち、診療放射線技術+αの成長ができることを目的として行っています。今回は『THINGi®をプレイしよう』をテーマに開催しました。THINGi®とは、楽しみながらビジネスを学べる体験型ボードゲームであり、限りある資源を用いて目標達成するプロセスや仕事の変化に対する自身の思考や感情を知り、自己理解を促すことを目的とした研修プログラムです。1テーブルで参加者4人にファシリテータ1人を2テーブル用意し行いました。参加できる人数が8人であったため、参加募集開始後、数日で定員となってしまう、改めてテクニカルな講習会だけでなく、ノンテクニカルスキルを学ぶことのできる講習会の必要性があると実感しました。

実際に参加し感じたことは、目標を設定することの大切さ、その目標を達成するために必要なプロセスは何かを考えるきっかけとなり、物事の考え方もさまざまな方法があり、それを多角的に考える必要があるということ学びました。また講習会に参加した方の意見や考え方を知ること、「自分ももっとこうするべきでは」と考えさせられる場面が多々あり、とても刺激になりました。

参加者の皆さまから頂いたアンケートでは、「聞く力、説明する力、相手を理解しようとする姿勢について学べた」や「ボードゲームを通してさまざまな考え方や自己分析について考える機会をいただきました。今後の業務でも役立つさまざまな力について学べ、目標達成に対するプロセスについても理解を深めることができました。ゲーム感覚で学べて楽しかったです。」などの意見を頂き、満足していただけたものと思っております。

最後になりますが、ファシリテータの皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。



第8回 SART 学術ナイトセミナー ～CT検査ステップアップのためのワンポイントアドバイス～ 開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
学術理事 中根 淳

2023年10月19日（木）にweb会議システムを用いて、第8回SART学術ナイトセミナー～画像検査のワンポイントアドバイス～を開催しました。申し込みは35人でした。埼玉県外からの参加も多数あり、これもオンラインセミナーのメリットと考えています。内容と講師は、以下の通りです。

プログラム（敬称略）

第1部

18：50～19：20 CT室における患者急変時の診療放射線技師の初期対応について
埼玉医科大学病院 堀切 直也

第2部：頭部CT検査

19：20～19：50 ちょこっとステップアップ！単純CTの基礎
小川赤十字病院 廣田 絵美

20：00～20：30 CT Angiographyの撮影テクニック
さいたま市立病院 野々浦成美

20：30～21：00 読影の基本とテクニック
上尾中央総合病院 茂木 雅和

近年、医師の業務負担を軽減するためのタスク・シフトにより、診療放射線技師の役割はますます多様化しています。この新たな状況において、私たちは従来の業務スキル向上にも焦点を当てる必要があります。そこで、今回はCT検査において最も一般的な頭部検査に焦点を当て、若手や初学者が直面する課題を解決するためのオンラインセミナーを開催しました。第1部では、CT検査中の急変事態への対処の重要性と継続的なトレーニングの必要性についてお話していただきました。第2部の臨床編では、頭部単純CT検査の撮影方法、ポジショニングの重要性、造影理論の再確認、そして読影時に情報を効果的に伝えるための5W1H（What, When, Where, Why, Who, How）について講義が行われました。これらの内容は参加者が翌日から実践できるもので、高い満足度を得られたセミナーであると実感しております。

最後に、講師の皆さま、そしてセミナーへの参加者の皆さまに、心からの感謝の意を表します。

2023年度 第14回 CT認定講習会 開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
学術理事 中根 淳

2023年11月19日にweb会議システムを用いて、CT認定講習会を開催しました。受講者は7人で埼玉県以外からの参加もありました。オンラインの開催では、CT認定講習会のオリジナリティである実習が無事に終わるのか不安でしたが、皆さまのご協力のおかげでプログラム通りに終了することができました。皆さまのご協力に感謝致します。また、講習会の途中において通信環境の影響で少し聞き苦しい場面がありました。この場をお借りしてお詫びさせていただきます。

内容と講師は、以下の通りです。

CT認定講習会		プログラム	
8:25~ 8:30	オリエンテーション		
8:30~ 9:30	頭頸部CTの撮影法、読影講義	富田 博信	帝京大学
9:30~10:30	腹部CTの撮影法、読影講義	八木沢英樹	JCHO東京蒲田医療センター
10:40~11:40	救急CTの撮影法、読影講義	寺澤 和晶	さいたま赤十字病院
11:40~12:40	造影技術概論	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター
13:40~14:40	胸部CTの撮影法、読影講義	染野 智弘	羽生総合病院
14:40~15:40	物理特性講義	城處 洋輔	済生会川口総合病院
15:40~18:00	実習 MTF、SSPz、NPS	城處 洋輔 中根 淳	済生会川口総合病院 埼玉医科大学総合医療センター

2023年度 第21回 胸部認定講習会 開催報告

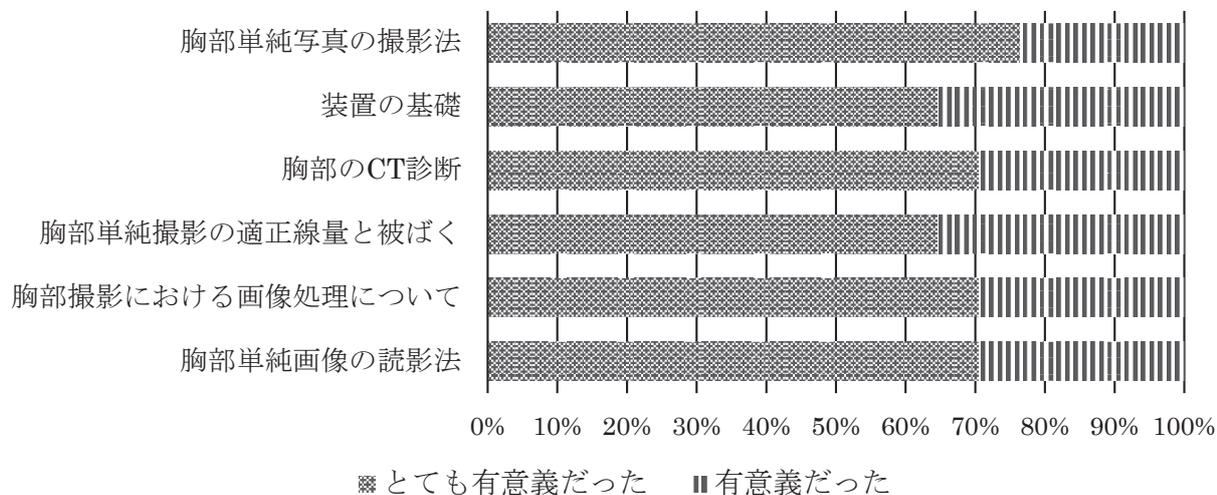
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
学術理事 滝口 泰徳

埼玉県診療放射線技師会主催の胸部認定講習会が、2023年11月26日（日）にオンラインで開催されました。受講された参加者は19人で、県外からの参加もみられ、オンライン開催の利点であると考えています。「胸部認定」という講習会名ですが、講義の多くは一般撮影全般で生かせる内容でもあり、診療放射線技師として日々の業務を行う上でも役に立つ内容でした。アンケートの結果からも参加者の満足度は高く、有意義な情報をお伝えすることができたと考えております。今後も、胸部認定講習会を含め皆さまの役に立つ講習会を開催致しますので、よろしくお願い致します。

プログラム（敬称略）

9：00～	オリエンテーション	
9：10～10：10	胸部単純写真の撮影法	滝口 泰徳（JCHO 船橋中央病院）
10：10～11：10	装置の基礎	吉澤 孝郁
11：10～11：20	休憩	
11：20～12：20	胸部のCT診断	笹原 重治（上尾中央総合病院）
12：20～13：20	昼休み	
13：20～14：20	胸部単純撮影の適正線量と被ばく	森 一也（済生会川口総合病院）
14：20～15：20	胸部撮影における画像処理について	戸澤 僚太（済生会川口総合病院）
15：20～15：30	休憩	
15：30～17：00	胸部単純画像の読影法	佐々木 健（上尾中央総合病院）

第21回 胸部認定講習会 アンケート結果



第三支部



第三支部だより



第三支部理事 大友 正人

余寒厳しき折、お障りなくお過ごしでしょうか。

川越市健康まつりが例年より短時間の開催ではありますが、4年ぶりの現地開催となり、第三支部でも医療画像展として参加することができました。

第2回勉強会・定時総会は4年ぶりに現地開催を予定致しております。皆さまお誘いあわせの上、ご参加いただけることを心よりお待ちしております。

親睦行事につきましては、誠に残念ではございますが感染対策のため、今年度は中止とさせていただきます。もうしばらくお待ちください。

【報告事項】

1. 第3回川越市健康まつり実行委員会
(ア) 開催日程：2023年10月27日（金）
(イ) 開催場所：川越市保健センター 3階
(ウ) 内 容：催し物、会場レイアウトについて
2. 第4回第三支部役員会
(ア) 開催日程：2023年11月20日（月）
(イ) 開催場所：埼玉医科大学国際医療センター
(ウ) 内 容：第37回川越市健康まつり、第2回支部勉強会・定時総会について
3. 第37回川越市健康まつり
(ア) 開催日程：2023年12月17日（日）
(イ) 開催場所：ウエスタ川越
(ウ) 内 容：医療画像展・被ばく相談・画像クイズなど
4. 第3支部新年会（例年1月頃開催）は感染対策と致しまして中止とさせていただきます。

【今後の予定】

1. 第4回川越市健康まつり実行委員会
(ア) 開催日程：2024年2月8日（木）
(イ) 開催場所：川越市保健センター 3階
(ウ) 内 容：振り返り・今後の実施方法について
2. 第2回第三支部勉強会・定時総会
(ア) 開催日程：2024年3月14日（木）
(イ) 開催場所：ウエスタ川越 活動室1
(ウ) 内 容：勉強会・定時総会（詳細は第三支部ホームページにてお知らせ致します。）

第三支部の活動の詳細は、ホームページ（<http://saitama3shibu.jimdo.com/>）をご覧ください。

第四支部

深谷市福祉健康まつり 参加報告

第四支部 柏瀬 義倫・大野 渉

2023年10月29日（日）、深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）で、第18回深谷市福祉健康まつりが開催されました。

昨年までは新型コロナウイルスの影響で開催の中止や他会場での縮小開催が続いていましたが、4年ぶりに例年に近い形での開催となり、私たちも4年ぶりの参加となりました。

活動内容も以前と同様に「骨密度測定」をメインに、「医療画像展」「スーパーボールすくい」を催しました。

久しぶりの参加ということもあり、準備に手間取ったり、イレギュラーなこともありましたが、終わってみれば400人を超える市民のかたがたに会場していただき、大変盛況のうちに終えることができました。

今後もこのような公益活動を通して、診療放射線技師の職種・役割の普及をしつつ、多くのかたがたの健康に寄与していきたいと思えます。



第18回 深谷市福祉健康まつり実行委員

会員名	施設名	会員名	施設名
大野 渉	羽生総合病院	田中 智大	熊谷総合病院
柏瀬 義倫	深谷赤十字病院	山崎 貴雄	東松山市民病院
高井 太市	小川赤十字病院	齋藤 幸夫	深谷赤十字病院
山田 伸司	小川赤十字病院	佐藤 綾香	深谷赤十字病院
大谷 智則	行田総合病院	小林明日香	深谷赤十字病院

第六支部

～ Lock on ～

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

1. 巻頭言
2. 第2回定期講習会 報告書

巻頭言

より身近になった医療情報について

埼玉県立がんセンター 安東 千尋

皆さんは、医療情報についてどのくらい知っていますか。

近年、私たち放射線部門内でも急速にデジタル化が進み、医療情報について考えさせられる機会が増えてきたように感じます。

そもそも医療情報とは、医療に関するさまざまなデータや知識のことを指します。種類としては、レセプトデータ（診療報酬明細書）、電子カルテデータ、DPCデータ（診療行為と病院管理）、健康診断データ、リアルワールドデータ（医療現場で得られるデータ）など多種多様です。

さらに近年では医療分野の情報化が推進され、今まで紙などでやり取りしていた院内業務や病院間における情報連携に対しICTを活用したネットワークを構築することで、地域格差をなくした質の高い医療の提供を目指す取り組みも行われています。

私たちの身近な医療情報としては、各モダリティにおける検査時の患者情報の取得、依頼情報と該当画像との結び付けなど、全ての検査において医療情報が使用されています。普段当たり前のようになっているこの医療情報ですが、そもそも医療情報は、正確で信頼性のある情報である必要があります。誤った情報は患者の健康に害を及ぼす可能性があるため、医学的なエビデンスに基づいているか、信頼性のある医療機関や専門家から提供されているかを確認することが大切です。

ここ最近では、10月31日に医療機関における大規模なサイバー攻撃（ランサムウェア）が発生しています。電子カルテが動かなくなったり、病院内のプリンターから永遠に犯行声明が記載された用紙が印刷されるなど、現在の医療システムが稼働しなくなり、通常診療すら行えなくなってしまう事態が起きているそうです。

私たち診療放射線技師は、放射線の専門家であるとともに医療情報を含む機械類を扱う職種でもあります。これを機に、普段使っているパソコンや検査に使用している機器類の医療情報の安全を確保するためにどのようなことに注意すべきか考えるきっかけになったらうれしいです。

医療情報は私たちの生活に欠かせない要素であり、正確な情報に基づいて健康に関する重要な決定を下すのに役立ちます。そのため、情報源の信頼性を確認し、自身の健康とプライバシーを保護しながら、医療情報を活用することが大切です。

第六支部 第2回定期講習会 報告書

報告者 上尾中央総合病院 仲西 一真

日 時：2023年11月29日（水）19：00～21：00

会 場：上尾中央総合病院（臨床研修センター）

参加人数：25人（役員・演者含む）

講習会テーマ：各施設での救急撮影の取り組み

白岡中央総合病院の救急撮影の取り組み

白岡中央総合病院 田中 啓太

丸山記念総合病院の救急撮影の取り組み

丸山記念総合病院 黒住 奈那

上尾中央総合病院の救急撮影の取り組み

上尾中央総合病院 齊藤 里奈

さいたま赤十字病院の救急撮影の取り組み

さいたま赤十字病院 大川斗喜也

総合ディスカッション

司会 さいたま北部医療センター

各施設での救急撮影への取り組みや、演者自身の経験談を紹介した後、参加者全員でディスカッションを行った。ディスカッションでは撮影プロトコル、検査室の運用、教育システムの紹介や、問題点の共有などがテーマとして進んだ。

撮影を工夫した症例や、まれな疾患をリスト化し、部署内カンファレンスを開催することで撮影スキルの向上に活用する取り組みが紹介され、その具体的な運用方法や課題を共有した。

近年、新型コロナウイルスの流行によりWeb開催が続いていたが、前回の定期講習会から集合型で開催している。さまざまな施設から多くの方にご参加いただき、実際に顔を合わせて意見を交えることで賑わいのある講習会であった。

求人コーナー

本会は、求人情報の掲載のみで、雇用内容に関するお問い合わせは受けておりません。また雇用契約に一切関わっておりません。

施設名 医療法人慈秀会上尾アーバンクリニック

住所	埼玉県上尾市緑丘3-5-28シンワ緑丘ビル1F
担当者氏名	工藤 誠
TEL	048-778-1929
FAX	048-778-1930
E-mailアドレス	ageo-urbanclinic@cocoa.plala.or.jp
募集対象者	診療放射線技師
雇用形態	非常勤
業務内容	一般撮影、胃透視、骨密度、CT、眼圧など
待遇	時給¥2,500～（マーゲン撮影必須）
勤務時間	8：30～12：30
休日	
募集人員	1名
宿舍の有無	無
社会保険など	
応募方法	電話もしくは、メール
その他	

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会発行の会誌「埼玉放射線」で、診療放射線技師の求人コーナーを掲載しております。次の掲載要項をご理解の上、申し込みくださるようお願い申し上げます。

掲載要項

発行部数：約1600部

発行エリア：埼玉県内

発行月：1・5・7・10月下旬

原稿締切日：発行月の1カ月前の1日

申込方法：求人広告掲載申し込み用紙でFAX、または同項目を記載し電子メールにて申し込み。

法令により年齢や性別に関する記述はできません。

掲載可否：後日担当者より連絡

掲載料：1回1万円

振込先：掲載決定後にご連絡

求人広告掲載申し込み FAX 用紙

施設名	
住所	
担当者氏名	
TEL	
FAX	
E-mail アドレス	
募集対象者	
雇用形態	
業務内容	
待遇	
勤務時間	
休日	
募集人員	
宿舍の有無	
社会保険など	
応募方法	
その他	

FAX 送信先 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
FAX 番号 048-664-2733
電子メールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

2023年度 第1回常務理事会議事録

日時：2023年4月6日（木）19：00～20：30

場所：ZoomによるWeb会議

出席者：会長：田中 宏

副会長：潮田 陽一

常務理事：今出 克利、八木沢英樹、

佐々木 健、城處 洋輔、

中根 淳、清水 邦昭

監事：堀江 好一、浅野 克彦

事務局長：結城 朋子

欠席者：富田 博信

紙料金は含まず

ウ、4月5日に納品、順次発送中

(4) 2023年度会議予定

第1. 議事録作成人、議事録署名人の選出について

議長：田中 宏

議事録署名人：田中 宏、浅野 克彦

議事録作成人：八木沢英樹 と定めた。

第2. 報告および確認事項

1. 会長（田中）

報告事項なし

2. 副会長（富田）

報告事項なし

3. 副会長（潮田）

(1) 顧問税理士の月次監査を受けた。

ア. 日程：2023年3月30日（木）

イ. 内容：決算見直しについて

4. 総務（今出）

(1) 第一支部第2回勉強会の委嘱状の発送について

ア. 該当者1人に対して、委嘱状を作成した。（公印番号4-40）

イ. 3月10日（金）に発送した。

(2) 第12回定期総会、総会運営委員の委嘱状の発送について

ア. 該当者7人に対して、委嘱状を作成した。（公印番号4-42）

イ. 3月27日（月）に発送した。

(3) 会員カード作成について

ア. 2022年度新規作成131人分を望月印刷に発注した。

イ. 請求金額：79,255円（税込）注意事項：台

5. 総務（八木沢）

報告事項なし

6. 編集情報（清水）

(1) 会誌

ア. 会誌埼玉放射線5月272号
5月26日（金）発送予定

(ア) 内容

a. 2号連続特集：深吸気息止め照射の臨床導入

b. 誌上講座：手持ち撮影歯科用エックス線装置の法令適用 諸澄 邦彦

c. 会告：

【公示】2023.5月号役員選挙（締め切り後に差し替え予定）

2023年度 診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー

日時	イベント名	備考欄
2023/ 4/ 6 (木)	第1回常務理事会	
2023/ 5/18 (木)	第1回常務連絡会	
2023/ 5/25 (木)	第1回理事会	
2023/ 6/11 (日)	SART総会・第2回理事会	
2023/ 6/29 (木)	第2回常務連絡会	
2023/ 7/ 6 (木)	第3回理事会	
2023/ 7/27 (木)	第3回常務連絡会	
2023/ 8/ 3 (木)	第4回理事会	
2023/ 8/31 (木)	第4回常務連絡会	
2023/ 9/ 7 (木)	第5回理事会	
2023/10/ 5 (木)	第2回常務理事会	
2023/10/26 (木)	第5回常務連絡会	
2023/11/ 2 (木)	第6回理事会	
2023/12/ 7 (木)	第3回常務理事会	
2023/12/28 (木)	第6回常務連絡会	
2024/ 1/ 4 (木)	第7回理事会	
2024/ 2/ 1 (木)	第4回常務理事会	
2024/ 2/29 (木)	第7回常務連絡会	
2024/ 3/ 7 (木)	第8回理事会	

第12回定期総会案内

- d. お知らせ：SARTE-book システムのお知らせパスワード変更
- e. メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて ID パスワード変
- f. 第12回総会資料
- j. 本会の動き
 - ・叙勲感想 中野さま
 - ・【開催報告】第20回胸部認定試験
 - ・【開催報告】乳腺セミナー
 - ・【開催報告】CT 認定試験開催報告
 - ・【開催報告】救急撮影ケーススタディ
 - ・【開催報告】部消化管検査認定講習会・認定試験
 - ・【開催報告】放射線被ばくに関する講習会
 - ・【開催報告】第4回SART被ばく相談事例検討会
 - ・【開催報告】第36回学術大会
 - ・【開催報告】MRI基礎講習会(Web)

イ. 会誌埼玉放射線7月273号

原稿締め切り：2023年6月1日（木）

(ア) 内容

- a. 2号連載特集 放射線治療 アブチェスを用いたDIBH導入時の注意点
SGRTを用いたDIBH導入時の注意点
- b. 学術大会抄録集
最優秀演題賞
フレッシューズセミナー
- c. その他

ウ. 会誌発行部数 1582部

エ. e-book 2023年5月号でパスワード変更

(2) 委員会開催

ア. 第1回編集情報委員会 2023年6月予定

(3) ホームページ

- ア. Webサイト 掲載および更新（会員用）
 - a. 2022年度 第5回埼玉乳房画像研究会講習会のご案内
 - b. 第65回埼玉消化管撮影研究会開催のご案内
 - c. 令和4年度埼玉県診療放射線技師会 第一支部第2回勉強会
 - d. 中央医療技術専門学校同窓会総会のお知らせ

らせ

(4) メールマガジン

ア. メールマガジン登録1件

イ. 望月印刷へ訪問し、打ち合わせを行った。

日時：2023年3月29日（水）17：00～

18：30

7. 学術（城處）

報告事項なし

8. 学術（中根）

報告事項なし

9. 公益（佐々木）

(1) 被ばく相談件数報告

3月) 2件

(2) 放射線特別授業「3DWSを用いた人体解剖学体験」

早稲田本庄高等学校から申し込みがあった。

第3. 審議・承認事項

(1) 議案-1 2022年度事業報告（案）について

ア. 起案者：田中 宏（会長）

イ. 事由：2022年度事業報告（案）

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

(2) 議案-2 名誉会員の承認

ア. 起案者：田中 宏（会長）

イ. 事由：中野寿夫氏、尾形智幸氏の名誉会員としての承認

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

審議・承認事項まとめ

	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	2022年度事業報告（案）について	あり	0	0	承認	なし	常務-1
2	名誉会員の承認	あり	0	0	承認	なし	常務-2

配布資料（メール配信を含む）

- (1) 会長資料
- (2) 総務資料
- (3) 編集情報資料
- (4) 学術資料
- (5) 財務資料
- (6) 議案書
- (7) 前回議事録

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において署名捺印します。

2023年10月5日（木）

議事録署名人 田中 宏（押印略）
浅野 克彦（押印略）

2023年度 第4回理事会議事録（抄）

日時：2023年8月3日（木）19：00～20：30

場所：Zoomを利用したオンライン会議

出席者：会長：富田 博信

副会長：潮田 陽一、城處 洋輔

常務理事：今出 克利、八木沢英樹、

中根 淳、滝口 泰徳、

清水 邦昭、佐々木 健

理事：肥沼 武司、吉田 敦、

近藤 敦之、浅見 純一、

紀陸 剛志、佐藤 吉海、

大友 正人、大野 涉、

矢崎 一郎、仲西 一真

監事：田中 宏

顧問：小川 清

欠席者：大西 圭一、浅野 克彦、鈴木 正人

第1. 議事録作成、議事録署名人の選出について

議長：富田 博信

議事録署名人：富田 博信、田中 宏

議事録作成：八木沢英樹 と定めた。

第2. 報告および確認事項

1. 会長（富田）

(1) 表彰委員会の委員長が、藤間英雄元委員長から田中宏監事に変更となった。

(2) STAT画像：SARTでも教育する機会を設けて頂きたい。

(3) 学術大会の発表カテゴリーについて、学術委員会を中心に検討していただきたい。

2. 副会長（潮田）

報告事項なし

3. 副会長（城處）

(1) 告示研修会（埼玉開催）2日間連続開催で、ゴミが大量に発生するため、医療廃棄物として技師会事務所が業者に依頼して回収していただき、費用をJARTに請求する方向で調整している。

4. 総務（今出）

(1) 放射線特別授業の委嘱状の発送について

ア. 該当者8人に対して、委嘱状を作成した。（公印番号5-4）

イ. 6月16日（金）に発送した。

(2) 学術ナイトセミナーの委嘱状の発送について

ア. 該当者4人に対して、委嘱状を作成した。（公印番号5-5）

イ. 6月16日（金）に発送した。

(3) 第三支部第1回勉強会の委嘱状の発送について

ア. 該当者2人に対して、委嘱状を作成した。（公印番号5-6）

イ. 6月16日（金）に発送した。

(4) 第六支部第1回勉強会の委嘱状の発送について

ア. 該当者4人に対して、委嘱状を作成した。（公印番号5-7）

イ. 6月16日（金）に発送した。

(5) 各種認定講習会の認定証の発送について

ア. 胸部準指導員6人に対して、認定証を作成した。

イ. CT準指導員3人に対して、認定証を作成した。

ウ. 上部消化管は、認定者なし。

エ. 6月26日（月）に発送した。

(6) SART永年勤続表彰（40年、20年）表彰状が納品された。

ア. 納品日：7月3日（月）

イ. 請求額：15,427円

ウ. 記念品との発送を潮田副会長に依頼した。

(7) SART役員の委嘱状の発送について

ア. 該当者21人に対して、委嘱状を作成した。（公印番号5-9）

イ. 7月24日（月）に発送した。

(8) SART委員の委嘱状の発送について

ア. 該当者50人に対して、委嘱状を作成した。（公印番号5-9）

イ. 7月24日（月）に発送した。

(9) Zoomミーティングルーム設定方法

ドロップボックスより、関係書類をダウンロードしてください。

(10) 講習会委嘱状（ひな形）

ドロップボックスより、関係書類をダウンロードしてください。

もしくは、委嘱状情報を収集するに当たって、以下のURL (google フォーム) を利用すること可能です。利用したい場合は、共同編集者に招待しますので、メールしてください。

- (11) PC貸出申請書
ドロップボックスより、関係書類をダウンロードしてください。
- (12) SARTホームページ 予約システムへのログイン方法について
URL : <https://www.sart.jp/radiotech/reserve-system/>
ID : @@@@
パスワード : @@@@



(13) 2023年度の会議予定

日時	イベント名	備考欄
2023/ 8/31 (木)	第4回常務連絡会	
2023/ 9/ 7 (木)	第5回理事会	
2023/10/ 5 (木)	第2回常務理事会	
2023/10/26 (木)	第5回常務連絡会	
2023/11/ 2 (木)	第6回理事会	
2023/12/ 7 (木)	第3回常務理事会	
2023/12/28 (木)	第6回常務連絡会	
2024/ 1/ 4 (木)	第7回理事会	
2024/ 2/ 1 (木)	第4回常務理事会	
2024/ 2/29 (木)	第7回常務連絡会	
2024/ 3/ 7 (木)	第8回理事会	

5. 総務 (八木沢)
報告事項なし

6. 編集情報 (清水)

- (1) 会誌
 - ア. 会誌埼玉放射線 7月273号
 - (ア) 内容
2号連載特集 放射線治療
アプチェスを用いたDIBH導入時の注意点
SGRTを用いたDIBH 導入時の注意点
学術大会抄録集
最優秀演題賞
フレッシュアーズセミナーなど
※会誌発送済
 - イ. 会誌埼玉放射線 10月274号
原稿締め切り：2023年9月1日 (金)
 - (ア) 内容
学術大会抄録集
学術委員企画 臓器別に見る臓器別に見る
技術解説
その他

(2) 委員会開催

- ア. 第1回編集情報委員会 2023年7月13日(木)
Zoomにて
(ア) 会誌ヒアリング
(イ) 理事会報告
- イ. 第2回編集情報委員会 2023年8月23日(水)
技師会事務所にて

(3) 会誌発行部数1560部

(4) 巻頭言について

- ア. 会長からの意向もあり、会長・副会長・各委員会委員長に順に書いてもらう。
- イ. 順番は次回が潮田副会長、その次が城處副会長、そのあとは委員会で決定後にお知らせ致します。

(5) コラムについて

- ア. 委員長でない常務理事・委員会の理事・支部理事の皆さまにもコラムとして順に執筆していただき会誌に掲載致します。順番は委員会で決定後にお知らせ致します。

7. 編集情報 (吉田)

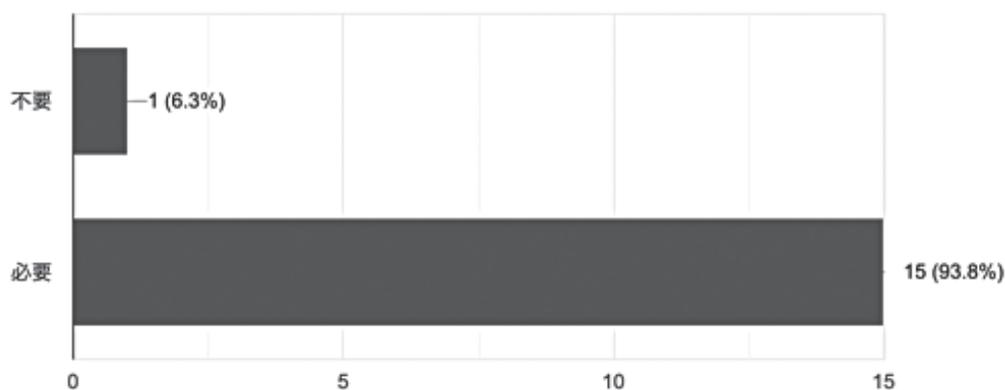
- (1) ホームページ
 - ア. Webサイト 掲載および更新 (会員用)
 - (ア) 2023年度 第6回埼玉乳房画像研究会講習会
 - (イ) 第397回 循環器画像技術研究会

- (2) WP・PHPバージョンアップ
 - ア. 日程：2023年7月14日（金）～2023年9月8日（金）
- (3) メールマガジン
 - ア. メールマガジン登録1件

- 8. 学術（中根）
 - (1) 第3回学術委員会を開催
 - ア. 日程：2023年7月18日
 - イ. 会場：ZoomによるWeb開催
 - (2) 第7回SART学術ナイトセミナーを開催
 - ア. 日程：2023年7月20日
 - イ. 会場：ZoomによるWeb開催
 - ウ. 申込者54人
 - エ. アンケート結果

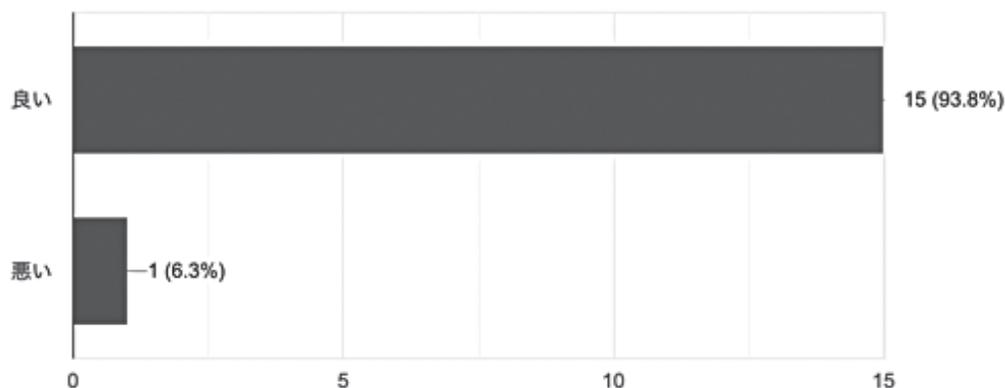
本セミナーのような基礎的な内容に関して年1回などの定期開催をどう思いますか？

16件の回答



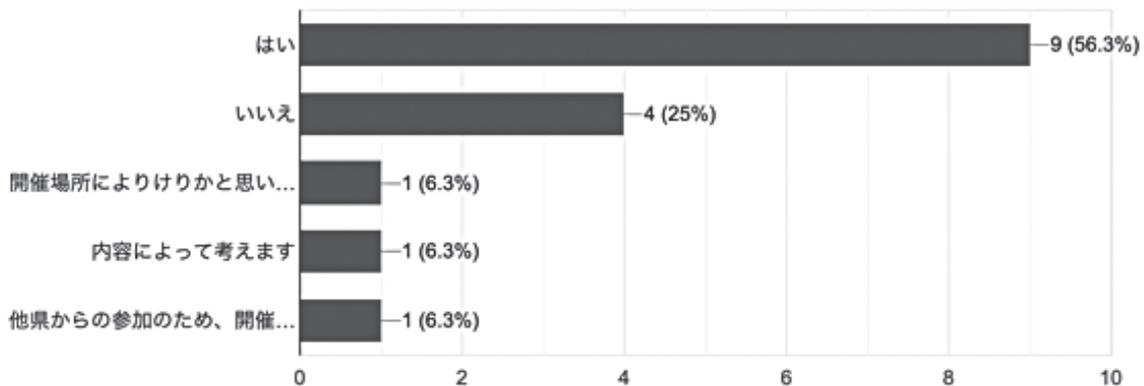
複数のモダリティの扱うセミナーはどう思いますか？

16件の回答



本セミナーがwebではなく、現地で開催されたとしても参加されましたか？

16件の回答



(3) 第8回Freedセミナーを開催予定。

ア. 日程：2023年9月9日

イ. 会場：埼玉県診療放射線技師会事務所

(4) 企画中の講習会およびセミナー

ア. 胸部認定講習会

イ. 上部消化管認定講習会

ウ. CT認定講習会

エ. 乳腺セミナー

オ. 第8回学術ナイトセミナー

カ. DR計測セミナー

キ. 救急撮影ケーススタディー

9. 学術（滝口）

報告事項なし

10. 学術（近藤）

報告事項なし

11. 学術（浅見）

報告事項なし

12. 財務（肥沼）

(1) 7月24日（月）ウイルスソフトの更新を完了した。

(2) 今後の予定

ア. 理事の入れ替えに伴い、理事の名簿が登録され次第、公益インフォメーションに理事の変更届を10月頃に提出する予定である。

イ. ウイルスソフトの更新が完了次第、新理事・新委員にソフトの案内を実施した

ウ. 旧役員理事のメールアドレスを10月頃削除予定であり、削除の際は事前連絡後に実施する。

エ. SART 役員のメーリングリストを作成したので、ご利用ください。

13. 公益（佐々木）

(1) 放射線特別授業について

ア. 早稲田大学本庄高等学院で、3DWSを用いた人体解剖学体験講座を開催した。

(ア) 日時：2023年7月5日（水）13：30～17：00

(イ) 会場：早稲田大学本庄高等学院

(ウ) 参加人数：17人

(エ) 講師：佐々木、紀陸、内海、石田、嶋崎、坂庭

イ. 開智中学高等学校で、3DWSを用いた人体解剖学体験講座を開催した。

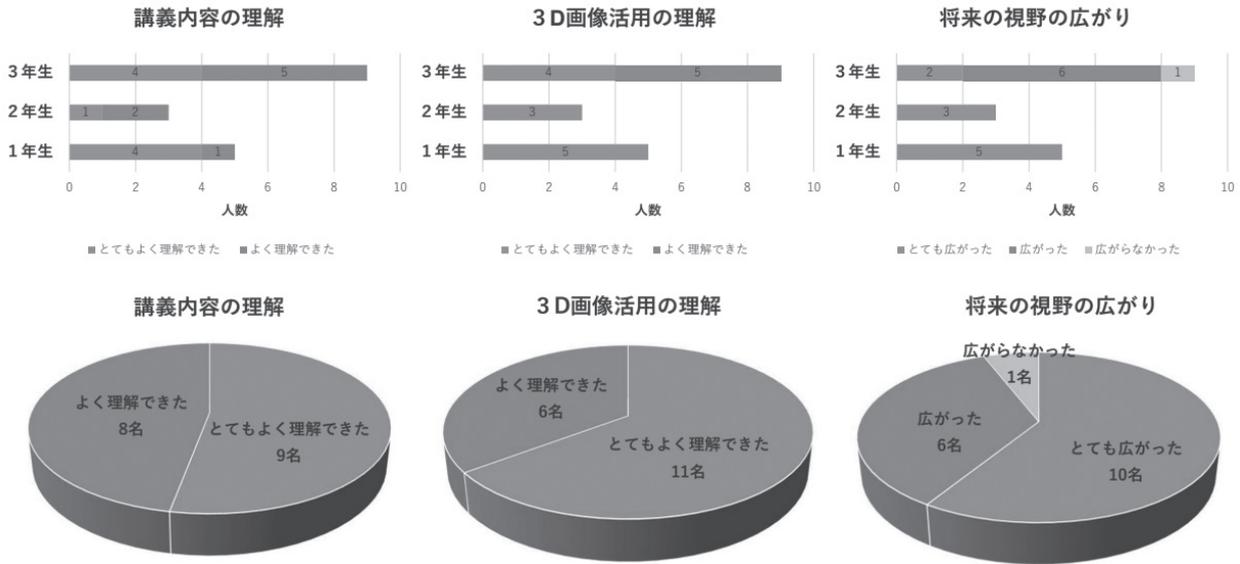
(ア) 日時：2023年7月26日（水）13：30～16：30

(イ) 会場：開智中学高等学校

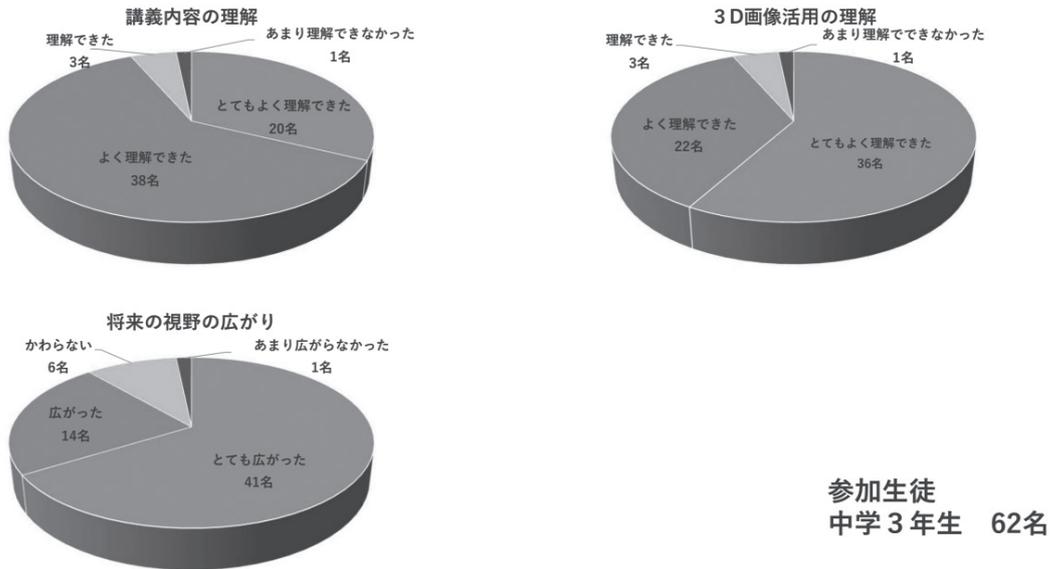
(ウ) 参加人数：62人（医療系志望の中学3年生）

(エ) 講師：佐々木、紀陸、内海、石田、大河原、宮崎

早稲田大学本庄高等学院
放射線特別授業 3Dワークステーションを用いた人体解剖学体験 アンケート結果



開智中学高等学校
放射線特別授業 3Dワークステーションを用いた人体解剖学体験 アンケート結果



14. 公益 (紀陸)
報告事項なし

15. 第一支部 (佐藤)
(1) 支部役員会

ア. 日時：2023年7月21日 (金) 19：00～
イ. 場所：浦和コミュニティセンター第3集会室
ウ. 内容：理事、役員交代について
今後の活動について
エ. 出席者：さいたま市立病院3人、JCHO東京

浦田医療センター1人、川口医療センター2人、済生会川口総合病院2人、東川口病院1人、計9人

(2) 支部勉強会

- ア. 日時：2023年10月20日（金）19：00～
- イ. 場所：浦和コミュニティセンター 第13集会室
- ウ. 内容：未定

16. 第二支部（大西）
報告事項なし

17. 第三支部（大友）

(1) 第三支部勉強会

- ア. 日時：2023年7月14日（金）18：30～
- イ. 場所：Web開催
- ウ. 参加人数：63人
- エ. 内容：[もう一度学ぼう急性腹症]
「高度救命センターってどんな所？」

(2) 第三支部役員会

- ア. 日時：2023年7月14日（金）19：30～
- イ. 場所：Web会議
- ウ. 参加人数：7人
- エ. 内容：川越市健康まつりについて

(3) 川越市健康まつり第2回実行委員会

- ア. 日程：2023年8月23日（水）
- イ. 場所：川越市保健センター 3階研修

18. 第四支部（大野）

(1) 四支部勉強会

- ア. 日時：2023年9月28日（木）19：00～
- イ. 場所：Web開催
- ウ. 内容：未定

(2) 医療画像展「深谷福祉健康祭り」

- ア. 日時：2023年10月29日（日）時刻未定
- イ. 場所：深谷ビッグタートル
- ウ. 内容：スクリーン投影、被ばく相談

19. 第五支部（矢崎）
報告事項なし

20. 第六支部（仲西）
報告事項なし

第3. 審議・承認事項

1. 議案-18 第37回川越市健康まつりへ参加し、医療画像展を行うに当たっての予算案の承認および展示パネル、のぼりの貸し出しについて

(1) 起案者：大友 正人（第三支部）

(2) 事由：技師会の広報活動の一環とし、川越市健康まつりに参加し、展示パネルを用いて放射線検査についての説明や、医療被ばくの情報提供・相談、画像を用いたクイズなどを行う。

(3) 審議経過：第三支部役員会

(4) 実施日：2023年12月17日（日）準備：9：00～
開催：12：00～15：00

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

2. 議案-19 DR計測セミナーを開催したい

(1) 起案者：滝口 泰徳（学術）

(2) 事由：DRセミナーをこれまで7回開催した。埼玉県内でのDR計測に関するセミナーは少なく、会員からの一定のニーズがあると思われます。昨年度はCOVID-19の影響もあり平日ナイトセミナーとしてWeb開催をしました。COVID-19の感染症法の位置付けが5類に移行したこともあり、今回は休日の午後を利用して、実地での実習形式で行います。内容に関しては、MTF・NPSのデータ取得方法から、PCを用いたDQEの解析までを行います。座学での概論と、測定と解析の実習を行います。

ご審議のほどよろしくお願いします。

(3) 審議経過：第3回学術委員会

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

3. 議案-20 第21回胸部認定講習会・試験を開催にしたい

(1) 起案者：滝口 泰徳（学術）

(2) 事由：昨年度同様、感染拡大防止に配慮したWeb開催にて講習会を行います。認定試験は別途Webにて行います。内

容は前回同様です。ご審議のほどよろしく申し上げます。

(3) 実施日：2023年11月26日（日）

(4) 審議経過：第3回学術委員会

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

4. 議案-21 2023年度上部消化管検査認定講習会および認定試験の開催について

(1) 起案者：浅見 純一（学術）

(2) 事由：2023年度もZoomを利用したオンライン形式にて上部消化管検査認定講習会の開催を企画する。講義内容は日本診療放射線技師会の基礎技術講習会「消化管撮影」の学習カリキュラムにのっとり行う予定とする。

(3) 実施日：2024年1月21日（日）

(4) 審議経過：第2回学術委員会

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

5. 議案-22 第8回SART学術ナイトセミナーを開催したい。

(1) 起案者：中根 淳（学術）

(2) 事由：本セミナーは、第1回より若手会員の技術向上と学術委員の講師育成を目的として、平日夜に学術委員会主催としてセミナーを開催したいと考えています。今回内容は、新任学術委員の育成と会員へのCTに関する情報提供と考えて企画致しました。

(3) 実施日：2023年10月19日（木）

(4) 審議経過：学術委員会

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

6. 議案-23 第37回埼玉県診療放射線技師学術大会の開催案内および参加登録に関して審議および承認をお願い致します。

学会のテーマは学術委員会で審議した結果、「[MANABI] 求められる診療放射線技師をめざして」を案として挙げました。

(1) 起案者：中根 淳（学術）

(2) 事由：開催案内および参加登録に関しては前回理事会で審議していただいた状況です。

学会のテーマは、学術委員会で審議した結果、上記の案を提示致します。

テーマに関する想いとしては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、学会も軸軸を従来の会場型に戻す予定です。学会の醍醐味である対面での活発な議論により、職場では得られない体験を通じて学んで欲しいということです。

(3) 実施日：2024年3月3日（日）

(4) 審議経過：第2回学術委員会、第3回学術委員会

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

7. 議案-24 2024年“新春の集い”開催について（開催方法：会場参加型）

(1) 起案者：八木沢 英樹（総務）

(2) 事由：新型コロナウイルス感染症の位置づけは、2023年5月8日から「5類感染症」に変更となり、世の中も感染対策が徐々に緩和され以前の生活様式に戻りつつあります。そこで例年中止を余儀なくされていた新春の集いを開催したい。

(3) 実施日：2024年1月開催予定（以前は第2金曜日）

(4) 審議経過：第3回常務理事連絡会

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

8. 議案-25 新入会員の承認について

(1) 起案者：今出 克利（総務）

(2) 事由：新入会員の承認

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

会員の動向まとめ（2023年7月31日現在）

新入会	9人	2023年度累計	40人
再入会	0人	2023年度累計	3人

議事録

転入	2人	2023年度累計	5人
転出	0人	2023年度累計	6人
退会	0人	2023年度累計	1人
滞納退会・除籍	0人	2023年度累計	8人

※第4回理事会承認後、会員数：1,466人

9. 議案-26 深谷市福祉健康まつりに参画し医療画像展の開催に際し、予算案の承認および骨密度測定装置レンタルの貸出について

- (1) 起案者：大野 渉 (第四支部)
 (2) 事由：技師会活動の一環として深谷市福祉健康まつりへの参加をし、医療画像展を開催したい。スクリーン投影とその説明・放射線医療の啓蒙活動・放射線検査の説明および医療被ばくの相談・骨密度測定など
 (3) 実施日：2023年10月29日 (日)
 (4) 審議経過：第四支部会2023/6/18
 資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

審議・承認事項まとめ

	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	第37回川越市健康まつりへ参加し、医療画像展を行うにあたっての予算案の承認および展示パネル、のぼりの貸し出しについて	あり	0	0	承認	なし	理-18
2	DR計測セミナーを開催したい	あり	0	0	承認	なし	理-19
3	第21回胸部認定講習会・試験を開催にしたい	あり	1	0	承認	なし	理-20
4	2023年度上部消化管検査認定講習会の開催について	あり	0	1	承認	なし	理-21
5	第8回SART学術ナイトセミナーを開催したい	あり	0	0	承認	なし	理-22
6	第37回埼玉県診療放射線技師学術大会の開催案内および参加登録に関して審議および承認をお願い致します。 学会のテーマは学術委員会で審議した結果、「[MANABI] 求められる診療放射線技師をめざして」を案として挙げました。	あり	0	3	承認	なし	理-23
7	2024年“新春の集い”開催について (開催方法：会場参加型)	あり	7	1	承認	なし	理-24
8	新入会員の承認について	あり	0	0	承認	なし	理-25
9	深谷市福祉健康まつりに参画し医療画像展の開催に際し、予算案の承認および骨密度測定装置レンタルの貸出について	あり	0	0	承認	なし	理-26

配信資料 (メール配信を含む)

- (1) 総務
- (2) 学術
- (3) 公益
- (4) 財務
- (5) 編集・情報
- (6) 各支部
- (7) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において署名捺印します。

2023年9月7日 (木)

議事録署名人 富田 博信 (押印略)
 田中 宏 (押印略)

2023年度 第5回理事会議事録（抄）

日時：2023年9月7日（木）19：00～20：30

場所：Web開催（Zoom）

出席者：会長：富田 博信

副会長：潮田 陽一、城處 洋輔

常務理事：今出 克利、八木沢英樹、

中根 淳、清水 邦昭、

佐々木 健

理事：肥沼 武司、吉田 敦、

近藤 敦之、浅見 純一、

紀陸 剛志、佐藤 吉海、

大西 圭一、大友 正人、

大野 渉、矢崎 一郎、

仲西 一真

監事：田中 宏、浅野 克彦

顧問：小川 清

欠席者：滝口 泰徳、鈴木 正人

イ. 8月14日（月）に発送した。

(2) 第8回DR計測セミナーの委嘱状の発送について

ア. 該当者4人に対して、委嘱状を作成した。（公
印番号5-16）

イ. 8月30日（水）に発送した。

(3) 今度の会議・イベント予定

日時	イベント名	備考欄
2023/10/ 5（木）	第2回常務理事会	
2023/10/26（木）	第5回常務連絡会	
2023/11/ 2（木）	第6回理事会	
2023/12/ 7（木）	第3回常務理事会	
2023/12/28（木）	第6回常務連絡会	
2024/ 1/ 4（木）	第7回理事会	
2024/ 2/ 1（木）	第4回常務理事会	
2024/ 2/29（木）	第7回常務連絡会	
2024/ 3/ 7（木）	第8回理事会	

第1. 議事録作成人、議事録署名人の選出について

議長：富田 博信

議事録署名人：富田 博信、田中 宏

議事録作成人：八木沢英樹 と定めた。

第2. 報告および確認事項

1. 会長（富田）

報告事項なし

2. 副会長（潮田）

(1) 顧問税理士の月次監査を受けた。

ア. 日程：2023年7月31日（月）

イ. 日程：2023年8月31日（木）

(2) 令和5年 法人土地・建物基本調査に回答した。

3. 副会長（城處）

(1) 「告示研修会」埼玉県開催を2024年2月に開催
予定である。

4. 総務（今出）

(1) 第8回学術ナイトセミナーの委嘱状の発送につ
いて

ア. 該当者4人に対して、委嘱状を作成した。（公
印番号5-13）

5. 総務（八木沢）

報告事項なし

6. 編集情報（清水）

(1) 会誌

会誌埼玉放射線10月274号

原稿締め切り：2023年9月1日（金）済み

ア. 内容

(ア) 学術大会抄録集

学術委員企画 臓器別に見る

(イ) 技術解説：富士フィルムメディカル

GEヘルスケア・ジャパン

(ウ) 会告

(エ) 本会の動き

(オ) その他

(2) 委員会開催

ア. 第1回編集情報委員会2023年7月13日（木）
Zoomにて

(ア) 会誌ヒアリング

(イ) 理事会報告

イ. 第2回編集情報委員会 2023年8月23日（水）
技師会事務所にて

(ア) 会誌契約について

- (イ) 巻頭言・コラムの順について
- (3) 会誌発行部数1580部
- (4) 巻頭言について
委員会で検討した結果、下記の順番（HP、会誌の名簿順）で依頼することと決定した。
- | | | | |
|-----------|-------------|-------|---|
| 2023年10月号 | 副会長 | 潮田 陽一 | 済 |
| 2024年 1月号 | 副会長 | 城處 洋輔 | |
| 2024年 5月号 | 常務理事（学術） | 中根 淳 | |
| 2024年 7月号 | 常務理事（総務） | 今出 克利 | |
| 2024年10月号 | 常務理事（公益） | 佐々木 健 | |
| 2025年 1月号 | 常務理事（編集・情報） | 清水 邦昭 | |
| 2025年 5月号 | 会長 | 富田 博信 | |
- (5) コラムについて
編集情報委員会で検討した結果、下記の順番で2人ずつ依頼することと決定した。
- | | | | |
|-------------------------|------------|-------|--|
| 2024年 1月号から実施。次回理事会で報告。 | | | |
| 2024年 1月号 | 常務理事（総務） | 八木沢英樹 | |
| | 常務理事（学術） | 滝口 泰徳 | |
| 2024年 5月号 | 理 事（財務） | 肥沼 武司 | |
| | 理 事（学術） | 近藤 敦之 | |
| 2024年 7月号 | 理 事（学術） | 浅見 純一 | |
| | 理 事（編集・情報） | 吉田 敦 | |
| 2024年10月号 | 理 事（公益） | 紀陸 剛志 | |
| | 第一支部理事 | 佐藤 吉海 | |
| 2025年 1月号 | 第二支部理事 | 大西 圭一 | |
| | 第三支部理事 | 大友 正人 | |
| 2025年 5月号 | 第四支部理事 | 大野 涉 | |
| | 第五支部理事 | 矢崎 一郎 | |
| 2025年 7月号 | 第六支部理事 | 仲西 一真 | |
| | 常務理事（総務） | 八木沢英樹 | |

7. 編集情報（吉田）

- (1) ホームページ
- ア. Webサイト 掲載および更新（会員用）
- (ア) 第48回 IVR被ばく低減技術セミナー
- (イ) 会誌バックナンバー269号
- (ウ) 講師依頼状・予約システム更新
- (エ) 第6回 血管撮影 防護・計測セミナー『今一度、みんなで考えよう！線量記録と線量管理』
- (オ) 第113回 埼玉 CT Technology Seminar 開催のご案内

- (カ) 第四支部勉強会のお知らせ
- (キ) 第398回 循環器画像技術研究会
- (ク) 2023年度 第8回 DR計測セミナー
- (ケ) 第8回 SART学術ナイトセミナー
～CT検査ステップアップのためのワンポイントアドバイス～
- イ. Webサイト 掲載および更新（一般用）
- (ア) 会誌バックナンバー269号
- (イ) 「リアル体験プレミアム教室について」掲載・リンク作成
- ウ. WP・PHPバージョンアップ
- (ア) 日程：2023年7月14日（金）～2023年9月8日（金）

(2) メールマガジン

- ア. メールマガジンNo125配信

8. 学術（中根）

- (1) 第4回学術委員会を開催
- ア. 日程：2023年8月24日（木）
- イ. 会場：ZoomによるWeb開催
- (2) 第8回Freedセミナーを開催予定
- ア. 日程：2023年9月9日（土）
- イ. 会場：埼玉県診療放射線技師会事務所
- (3) 2023年度 第8回DR計測セミナーを開催予定
- ア. 日程：2023年10月7日（土）
- イ. 会場：埼玉県済生会川口総合病院
- (4) 第8回SART学術ナイトセミナーを開催予定
- ア. 日程：2023年10月19日（木）
- イ. 会場：ZoomによるWeb開催
- (5) 企画中の講習会およびセミナー
- ア. 胸部認定講習会
- イ. 上部消化管認定講習会
- ウ. CT認定講習会
- エ. 乳腺セミナー
- オ. 救急撮影ケーススタディー
- (6) 学術大会プログラム委員会を開催予定。
- ア. 日程：2023年12月4日（月）
- イ. 会場：埼玉県診療放射線技師会事務所

9. 学術（滝口）

- 報告事項なし

10. 学術（近藤）

- 報告事項なし

11. 学術（浅見）
報告事項なし
12. 財務（肥沼）
報告事項なし
13. 公益（佐々木）
（1）放射線特別授業について
ア. 早稲田大学本庄高等学院にて3DWSを用いた人体解剖学体験講座を行った。
（ア）日時：2023年7月5日（水）13：30～17：00
（イ）会場：早稲田大学本庄高等学院
（ウ）参加人数：17人
（エ）講師：佐々木、紀陸、内海、石田、嶋崎、坂庭
イ. 開智中学高等学校
（ア）日時：2023年7月26日（水）13：30～16：30
（イ）会場：開智中学高等学校
（ウ）参加人数：62人
（エ）講師：佐々木、紀陸、内海、石田、大河原、宮崎
（2）第1回公益委員会会議を行った。
ア. 日時：2023年9月5日（火）19：00～21：00
イ. 場所：SART事務所会議室
（3）職業体験プレミアム教室
ア. 日時：2023年12月3日（日）9：00～16：00
イ. 場所：レイボックホール6階（抽選結果待ち）
14. 公益（紀陸）
報告事項なし
15. 第一支部（佐藤）
報告事項なし
16. 第二支部（大西）
報告事項なし
17. 第三支部（大友）
（1）第37回川越市健康まつり第2回実行委員会
ア. 日時：2023年8月23日（水）13：30～
イ. 場所：川越市保健センター 3階研修室
ウ. 内容：催し物、会場レイアウトについて
（2）今後の予定
ア. 第37回川越市健康まつり第3回実行委員会
（ア）日程：2023年10月26日（木）
（イ）場所：川越市保健センター 3階研修室
（ウ）内容：執務用要領、リーフレット、ポスターについて
イ. 第37回川越市健康まつり
（ア）日時：2023年12月17日（日）12：00～
（イ）場所：ウエスタ川越
（ウ）内容：医療画像展、医療被ばく相談、放射線画像クイズ
18. 第四支部（大野）
（1）勉強会
ア. 日時：2023年9月28日（木）19：00～
イ. 場所：Web 開催
ウ. 内容：メーカー講演「RF 予備校 ～初めてのアプリケーション～」
ディービエックス株式会社
中日本第三営業部
群馬営業所一課 大藤 泰彦 氏
技師講演「アプリケーション術前CT」
深谷赤十字病院 放射線科部
齋藤 幸夫 氏
（2）医療画像展「深谷福祉健康祭り」
ア. 日時：2023年10月29日（日）時刻未定
イ. 場所：深谷ビッグタートル
ウ. 内容：スクリーン投影、被ばく相談
19. 第五支部（矢崎）
報告事項なし
20. 第六支部（仲西）
（1）第2回支部役員会議
ア. 場所：上尾中央総合病院 臨床研修センター
イ. 日程：調整中（9月中旬）
- 第3. 審議・承認事項**
1. 議案-27 会誌「埼玉放射線」の編集・印刷発送業務の契約満了に伴い、次期もキタジマと契約更新したい。
（1）起案者：清水 邦昭（編集・情報）
（2）事由：次年度の契約をするに当たり、プレゼンテーションと編集委員会での話し合

いにより、キタジマに継続依頼をすることになりました。添付が見積もりで前回よりも高額になってしまいますが、原材料費と印刷による光熱費の高騰、人件費の値上げによるものとのことでした。値引きをお願いした金額が添付の再見積もりになりますので、こちらの金額で承認をしていただきたいと思います。

- (3) 審議経過：第2回編集情報委員会（2023年8月23日（水））
第4回常務連絡会（2023年8月31日（木））
- (4) 実施日：2024年1月から2025年12月まで
資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

2. 議案-28 第14回CT認定講習会と認定試験を開催したい。

- (1) 起案者：中根 淳（学術）
- (2) 事 由：昨年度同様に、本年度もオンラインをベースにCT認定講習会および認定試験を開催したい。内容としては、会場型で実施した内容と同様に撮影技術や読影、造影理論や物理特性についてCT検査における包括的な学習ができるよう企画した。プログラム（案）添付資料参照。
- (3) 実施日：2023年11月19日（日）
- (4) 審議経過：第4回学術委員会
資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

3. 議案-29 2023年度救急撮影ケーススタディを開催したい。

- (1) 起案者：滝口 泰徳（学術）
- (2) 事 由：救急撮影ケーススタディとして計8回開催しております。今回は新型コロナウイルスも5類になったため、3年ぶりに会場集合型で本来のグループワークをメインとした講習会を行えるよう企画致しました。症例は前回が頭頸部、胸部の疾患であったため、腹部の疾患をメインとしております。ご審

議のほどよろしくお願い致します。

- (3) 実施日：2024年1月13日（土）
- (4) 審議経過：第4回学術委員会
資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

4. 議案-30 MRI基礎講習会を開催したい。

- (1) 起案者：近藤 敦之（学術）
- (2) 事 由：本年度もZoomを利用したオンライン形式でのMRI基礎講習会を企画しました。
磁気共鳴専門技術者認定試験受験に必要な基礎知識を中心に解説する内容とした。
- (3) 実施日：2023年12月16日（土）
- (4) 審議経過：第4回学術委員会
資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

5. 議案-31 “2024 年新春の集い”開催詳細について

- (1) 起案者：八木沢英樹（総務）
- (2) 事 由：第4回理事会で開催する方針が決定した。
第5回理事会では、日時・会場・飲食形式・参加対象・予算などの開催概要について承認して頂きたい。
- (3) 実施日：2024年1月12日（金）
- (4) 審議経過：第4回常務連絡会（2023年8月31日（木））
資料を基に説明があり、審議した。
パターン①が11票、パターン②が2票、パターン③が5票となり、パターン①で承認された。

6. 議案-32 第48 回越谷市民祭りの事業に参加、医療画像展として出店予定
予算案の承認について

- (1) 起案者：矢崎 一郎（第五支部）
- (2) 事 由：祭り参加者に対して、医療放射線・診療放射線技師についての啓発活動。
埼玉県診療放射線技師会の広報活動。
・診療放射線技師の紹介
・放射線検査の説明など

- (3) 実施日：2023年10月22日（日）
- (4) 審議経過：支部役員会にて
資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

7. 議案-33 新入会員の承認について

- (1) 起案者：今出 克利（総務）
- (2) 事 由：新入会員の承認
- (3) 審議経過：第4回常務連絡会（2023年8月31日（木））
資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

会員の動向まとめ（2023年8月28日現在）

新入会	14人	2023年度累計	54人
再入会	0人	2023年度累計	3人
転入	0人	2023年度累計	5人
転出	1人	2023年度累計	7人
退会	0人	2023年度累計	1人
滞納退会・除籍	0人	2023年度累計	8人

※第5回理事会承認後、会員数：1,479人

7. 議案-34 公益委員会事業として開催している放

射線特別授業「3Dワークステーションを用いた人体解剖学体験」用にノートPCとDICOM Viewerの追加購入をお願いしたい。

- (1) 起案者：佐々木 健（公益）
- (2) 事 由：今年度より新たにリアル職業体験プレミア教室の事業を開始したが、従来の方法では多人数に対応することが困難であり、3Dを体験できない参加者も出てきてしまう。定期的な開催とするためにも新規でノートPCを1台追加し、VR作成可能な DICOM Viewerを技師会所有の3台のノートPC（公益、学術、総務）それぞれにインストールし使用したい。なお、RadiAntはサブスクリプションのため、利用時に都度準備することとした。
- (3) 実施日：RadiAnt：2023年11月から2024年1月まで
- (4) 審議経過：第1回公益委員会（2023年9月5日）
資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

審議・承認事項まとめ

	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	会誌「埼玉放射線」の編集・印刷発送業務の契約満了に伴い、次期もキタジマと契約更新したい。	あり	1	1	承認	なし	理-27
2	第14回CT 認定講習会と認定試験を開催したい。	あり	0	1	承認	なし	理-28
3	2023年度救急撮影ケーススタディを開催したい。	あり	2	0	承認	なし	理-29
4	MRI基礎講習会を開催したい。	あり	0	0	承認	なし	理-30
5	“2024年新春の集い”開催詳細について	あり	13	3	承認	なし	理-31
6	第48回越谷市民祭りの事業に参加、医療画像展として出店予定。予算案の承認について	あり	0	1	承認	なし	理-32
7	新入会員の承認について	あり	0	0	承認	なし	理-33
8	公益委員会事業として開催している放射線特別授業「3Dワークステーションを用いた人体解剖学体験」用にノートPCとDICOM Viewerの追加購入をお願いしたい。	あり	4	0	承認	なし	理-34

配信資料（メール配信を含む）

- (1) 総務
- (2) 学術
- (3) 公益
- (4) 財務
- (5) 編集・情報
- (6) 各支部
- (7) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において署名捺印します。

2023年11月2日（木）

議事録署名人 富田 博信（押印略）
田中 宏（押印略）



役員名簿

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

2023・2024 年度役員名簿

役員名簿

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
会長	富田 博信	帝京大学	03-3964-1211	h-tomita@sart.jp
副会長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
副会長	城處 洋輔	埼玉県済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
常務理事(学術)	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
常務理事(学術)	滝口 泰徳	JCHO 船橋中央病院	047-433-2111	y-takiguchi@sart.jp
常務理事(総務)	今出 克利	大宮医師会	048-663-5633	k-imade@sart.jp
常務理事(総務)	八木沢英樹	JCHO 東京蒲田医療センター	03-3738-8221	h-yagisawa@sart.jp
常務理事(公益)	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
常務理事(編集・情報)	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
理事(財務)	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
理事(学術)	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	049-276-1264	a-kondo@sart.jp
理事(学術)	浅見 純一	行田中央総合病院	048-553-2000	jyunichi-asami@sart.jp
理事(編集・情報)	吉田 敦	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	a-yoshida@sart.jp
理事(公益)	紀陸 剛志	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takashi-kiroku@sart.jp
第一支部理事	佐藤 吉海	さいたま市立病院	048-873-4111	yoshiomi-sato@sart.jp
第二支部理事	大西 圭一	所沢ハートセンター	04-2940-8611	k-onishi@sart.jp
第三支部理事	大友 正人	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4111	masato-ohmoto@sart.jp
第四支部理事	大野 涉	羽生総合病院	048-562-3000	wataru-ohno@sart.jp
第五支部理事	矢崎 一郎	春日部市立医療センター	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
第六支部理事	仲西 一真	上尾中央総合病院	048-773-1111	kazuma-nakanishi@sart.jp

監事・顧問

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
監事	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	h-tanaka@sart.jp
監事	浅野 克彦	参議院議員秘書		katsuhiko-asano@sart.jp
顧問	小川 清			k-ogawa@sart.jp
顧問	鈴木 正人	埼玉県議会議員		m-suzuki@sart.jp
顧問税理士	増田 利治	税理士法人クレシェンド会計事務所	048-649-1386	

総務・財務委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	今出 克利	大宮医師会	048-663-5633	k-imade@sart.jp
副委員長	八木沢英樹	JCHO 東京蒲田医療センター	03-3738-8221	h-yagisawa@sart.jp
副委員長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	佐藤 吉海	さいたま市立病院	048-873-4111	yoshiomi-sato@sart.jp
委員	大西 圭一	所沢ハートセンター	04-2940-8611	k-onishi@sart.jp
委員	大友 正人	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4111	masato-ohmoto@sart.jp
委員	大野 涉	羽生総合病院	048-562-3000	wataru-ohno@sart.jp
委員	矢崎 一郎	春日部市立医療センター	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委員	仲西 一真	上尾中央総合病院	048-773-1111	kazuma-nakanishi@sart.jp
委員	佐々木 剛	埼玉医科大学病院	049-276-1264	tsuyoshi-sasaki@sart.jp
委員	茂木 雅和	上尾中央総合病院	048-773-1111	masakazu-motegi@sart.jp
委員	岡田 尚也	さいたま赤十字病院	048-852-1111	naoya-okada@sart.jp
委員	福田 栞	さいたま市立病院	048-873-4111	shiori-fukuda@sart.jp
委員	戸澤 茜	埼玉県診療放射線技師会 事務局	048-664-2728	akane-tozawa@sart.jp

役員名簿

学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
副委員長	滝口 泰徳	JCHO 船橋中央病院	047-433-2111	y-takiguchi@sart.jp
副委員長	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	049-276-1264	a-kondo@sart.jp
副委員長	浅見 純一	行田中央総合病院	048-553-2000	jyunichi-asami@sart.jp
委員	城處 洋輔	埼玉県済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
委員	亀山 枝里	熊谷総合病院	048-521-0065	eri-kameyama@sart.jp
委員	妹尾 大樹	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-7702	taiki-senoo@sart.jp
委員	吉澤 孝郁	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	takafumi-yoshizawa@sart.jp
委員	戸澤 僚太	埼玉県済生会川口総合病院	048-253-1551	ryouta-tozawa@sart.jp
委員	新島 正美	熊谷生協病院	04-2995-3100	masami-nijima@sart.jp
委員	池野 裕太	さいたま赤十字病院	048-852-1111	yuuta-ikeno@sart.jp
委員	堀切 直也	埼玉医科大学病院	049-276-1264	naoya-horikiri@sart.jp
委員	茂木 雅和	上尾中央総合病院	048-773-1111	masakazu-motegi@sart.jp
委員	廣田 絵美	小川赤十字病院	0493-72-2333	emi-hirota@sart.jp
委員	小川 智久	上尾中央総合病院	048-773-1111	tomohisa-ogawa@sart.jp
委員	白石 健吾	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	kengo-shiraishi@sart.jp
委員	野々浦成美	さいたま市立病院	048-873-4111	narumi-nonoura@sart.jp

編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
副委員長	吉田 敦	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	a-yoshida@sart.jp
委員	宮崎 雄二	北里大学メディカルセンター	048-593-1212	y-miyazaki@sart.jp
委員	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	大友 哲也	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	t-otomo@sart.jp
委員	渡部 伸樹	さいたま赤十字病院	048-852-1111	nobuki-watanabe@sart.jp
委員	堀越 隆之	大宮シテイクリニック	048-645-1256	takayuki-horikoshi@sart.jp
委員	八木沢英樹	JCHO 東京蒲田医療センター	03-3738-8221	h-yagisawa@sart.jp

公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
副委員長	紀陸 剛志	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takashi-kiroku@sart.jp
委員	志藤 正和	埼玉県済生会川口総合病院	048-253-1551	m-shito@sart.jp
委員	内海 将人	埼玉県済生会加須病院	0480-52-3611	m-uchiumi@sart.jp
委員	石田 仁子	白岡中央総合病院	0480-93-0661	kimiko-ishida@sart.jp
委員	大河原 侑司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	yuji-okawara@sart.jp
委員	佐藤 克哉	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	katsuya-sato@sart.jp
委員	宮崎 千晶	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-0089	chiaki-miyazaki@sart.jp
委員	嶋崎 恭介	上尾中央総合病院	048-773-1111	kyousuke-shimasaki@sart.jp
委員	芳賀 陽菜	上尾中央総合病院	048-773-1111	haruna-haga@sart.jp

正 会 員 入 会 申 込 書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長殿

私は貴会の目的に賛同し、下記により入会を申し込みます。

フリガナ		性 別 男・女	生	年	月	日
氏 名			西暦	年	月	日

<p>1. 2. それぞれに○をつけご回答ください</p> <p>1. 今回の入会は [<input type="checkbox"/>新入会 <input type="checkbox"/>再入会 <input type="checkbox"/>転入]</p> <p>2. <input type="checkbox"/>日本診療放射線技師会&埼玉県診療放射線技師会へ入会 <input type="checkbox"/>埼玉県診療放射線技師会のみ入会</p>	転入前の 所属技師会	
---	---------------	--

フリガナ	TEL	—	—
勤務先名			
フリガナ	〒		
勤務先住所			
フリガナ	〒	TEL	— —
自宅住所			
E-mail (携帯不可)			

正会員入会申し込み

会誌送付先	① 勤務先 ② 自宅	所属支部（地区）
-------	-----------------	----------

診療放射線 技師免許	国家試験	第 回 合格
	登録	第 号 年 月 日 登録

免許取得の 学歴	入学年月日	西暦 年 月
	卒業年月日	西暦 年 月
	学校	

関連分野の 最終学歴	学位	ある なし
	学位記番号	
	授与年月	
	授与機関	

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-51-39
 TEL 048-664-2728
 FAX 048-664-2733

退会届

年 月 日

会員番号	日本診療放射線技師会
	埼玉県診療放射線技師会
会員名	印
退会理由	
退会希望日	年 月 日
会費納入状況	年度分まで納入済み

注 1) 規程により、埼玉県診療放射線技師会を退会すると日本診療放射線技師会も同時に退会となります。

注 2) 滞納している会費がある場合にはお支払いください。

※重要 注 3) 退会時には必ず会員番号をご記入ください。
 記載がない場合、退会処理に時間がかかり、希望日に間に合わない場合があります。

決算処理

埼放技	
日放技	

FAX申し込み

会員異動届

ファックス送信票

下記の通り送信致しますので、よろしくお願ひ致します。

受信者	FAX番号：048-664-2733 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
送信者	氏名
	施設名
	〒 施設住所

* 郵送の場合
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話：048-664-2728

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会員登録変更届

年 月 日

ふりがな 届出会員名		支部名	支部
技師会番号			

①転出者は正確にご記入ください			
転出先	() 県へ転出	技師会費を () 年度まで納入	
変更項目	<input type="checkbox"/> 印	②変更した項目をご記入ください	
	ふりがな 自宅住所	〒 -	TEL - -
	ふりがな 勤務先名		
	ふりがな 勤務先住所	〒 -	TEL - -
	ふりがな 改 姓		
	支部変更	第 () 支部を第 () 支部に	
連絡先変更			

年間スケジュール

2023・2024年度

埼玉県診療放射線技師会
日本診療放射線技師会など

年間スケジュール表

年間スケジュール

2023年度(1-3) 予定											
1月		埼玉放技	日放技など	2月		埼玉放技	日放技など	3月		埼玉放技	日放技など
1	月			1	木			1	金		
2	火			2	金			2	土		
3	水			3	土			3	日	第37回埼玉県診療放射線技師学術大会	
4	木			4	日			4	月		
5	金			5	月			5	火		
6	土			6	火			6	水		
7	日			7	水			7	木		
8	月			8	木			8	金		
9	火			9	金			9	土		
10	水			10	土			10	日		
11	木			11	日			11	月		
12	金			12	月			12	火		
13	土			13	火			13	水		
14	日			14	水			14	木		
15	月			15	木			15	金		
16	火			16	金			16	土		
17	水			17	土			17	日		
18	木			18	日			18	月		
19	金			19	月			19	火		
20	土			20	火			20	水		
21	日	2023年度 第21回上部消化管検査認定講習会		21	水			21	木		
22	月			22	木			22	金		
23	火			23	金			23	土		
24	水			24	土			24	日		
25	木			25	日			25	月		
26	金			26	月			26	火		
27	土			27	火			27	水		
28	日			28	水			28	木		
29	月			29	木			29	金		
30	火							30	土		
31	水							31	日		

2024年度(4-6) 予定											
4月		埼玉放技	日放技など	5月		埼玉放技	日放技など	6月		埼玉放技	日放技など
1	月			1	水			1	土		
2	火			2	木			2	日		
3	水			3	金			3	月		
4	木			4	土			4	火		
5	金			5	日			5	水		
6	土			6	月			6	木		
7	日			7	火			7	金		
8	月			8	水			8	土		
9	火			9	木			9	日		
10	水			10	金			10	月		
11	木			11	土			11	火		
12	金			12	日			12	水		
13	土			13	月			13	木		
14	日			14	火			14	金		
15	月			15	水			15	土		
16	火			16	木			16	日		
17	水			17	金			17	月		
18	木			18	土			18	火		
19	金			19	日			19	水		
20	土			20	月			20	木		
21	日			21	火			21	金		
22	月			22	水			22	土		
23	火			23	木			23	日		
24	水			24	金			24	月		
25	木			25	土			25	火		
26	金			26	日			26	水		
27	土			27	月			27	木		
28	日			28	火			28	金		
29	月			29	水			29	土		
30	火			30	木			30	日		
				31	金						



広告協賛会社一覧 (順不同)

No.	会社名	郵便番号	住所	電話
1	株式会社メディカルクリエート	330-0854	さいたま市大宮区桜木町2-403ほていやビル3階	048-782-7424
2	日本放射線防衛株式会社	113-0033	東京都文京区本郷2-38-12	03-3811-1158
3	株式会社メディカルサービスティアンドケイ	362-0001	上尾市上1710-3	048-777-7021
4	バイエル薬品株式会社	330-0843	さいたま市大宮区吉敷町1-75-1太陽生命大宮吉敷町ビル7階	048-640-6027
5	日本メジフィジックス株式会社	136-0075	東京都江東区新砂3-4-10	03-5634-7450
6	富士フイルムメディカル株式会社	330-0842	さいたま市大宮区浅間町2-240	048-645-6001
7	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	330-0845	さいたま市大宮区仲町3-13-1住友生命第2ビル1階	048-614-9950
8	富士製薬工業株式会社	102-0094	東京都千代田区三番町5番地7	03-3264-2211
9	PDRファーマ株式会社	104-0031	東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル	03-3538-3621
10	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	331-8701	さいたま市北区土呂町1-45-10	048-651-9290
11	コニカミノルタジャパン株式会社	105-0023	東京都港区芝浦1-1-1	03-6324-1080
12	シーメンスヘルスケア株式会社	141-8644	東京都品川区大崎1丁目11番1号ゲートシティ大崎ウエストタワー5階	03-3493-7500
13	富士フイルムヘルスケア株式会社	330-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町4-17-22	048-661-8500

広告索引

造影剤関係

富士製薬工業株式会社	5
バイエル薬品株式会社	2

アイソトープ関係

PDRファーマ株式会社	6
日本メジフィジックス株式会社	3

フィルム関係

富士フイルムメディカル株式会社	4
-----------------	---

機器関係

株式会社メディカルサービスティアンドケイ	1
キヤノンメディカルシステムズ株式会社	2
GEヘルスケア・ジャパン株式会社	4
コニカミノルタジャパン株式会社	6
シーメンスヘルスケア株式会社	3
富士フイルムヘルスケア株式会社	5

施設工事関係

日本放射線防衛株式会社	1
-------------	---

PACS サービス関係

株式会社メディカルクリエート	表3
----------------	----

Medical diagnostic imaging equipment and materials distributor

MEDICAL SERVICE T&K



SINCE 1992

医療用画像診断機器・医療機器・医療資材 販売代理店

株式会社メディカルサービスティアンドケイ

〒362-0001
埼玉県上尾市上1710-3

TEL. 048-777-7021
FAX. 048-777-7023

放射線施設等の設計、施工、維持管理

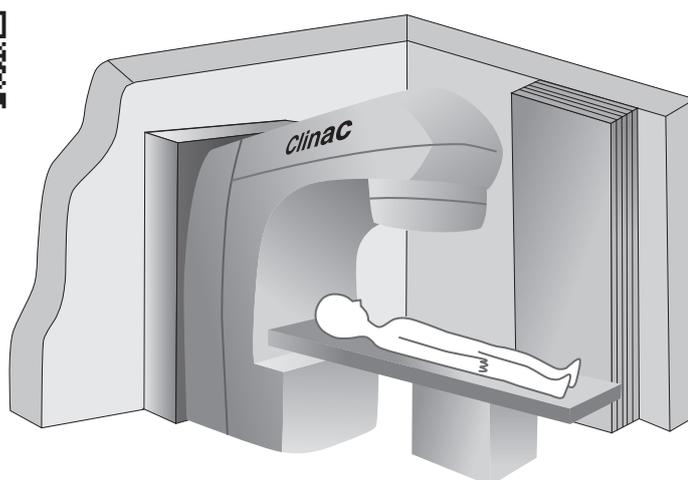
- リニアック、CT・MRI・RI検査室建造など
- 鉛、RC等の放射線遮へい工事
- 電波・磁気シールド工事
- 空調、電気、給排水設備工事
- 医療法、電離則に基づく法定測定



最近の施工施設 (全国)

国立病院北海道がん	慶應大学病院
秋田大学病院	名古屋大学病院
東北大学病院	大阪大学病院
埼玉県立がんセンター	九州大学病院
国立がん研究センター中央病院	琉球大学病院

など多数



日本放射線防衛株式会社

国土交通大臣許可 (特-28) 第21807号
高度管理医療機器等販売業・貸与業

本社 / 〒590-0074 堺市堺区北花田口町3丁目2番10号 TEL072-232-0741・FAX072-223-7393
東京支店 / 〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目38番12号 TEL03-3811-1158・FAX03-3811-1046
名古屋支店 / 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目32番20号 TEL052-269-9130・FAX052-269-9133

URL [<http://www.nippoh-net.co.jp>]

Canon

今ある画像を 超解像へ

Original



Matrix 320 x 320

Precise IQ Engine (PIQE)



Recon Matrix 960 x 960



さらなる進化を遂げたDLR-MRI

Deep Learning Reconstruction (DLR)

本システムは画像再構成に用いるネットワーク構築にDeep Learningを使用しており、本システム自体に自己学習機能を有していません。

E000306

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life



より良い明日へ

バイエルはイノベーションや治療法の提供を通じて、患者さんのための治療に変革をもたらす持続可能な取り組みを推進しています。私たちの目的 "Science for a better life" に沿って、人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://pharma.bayer.jp>

Science for a better life

PP-GEN-JP-0349-29-11

X線CT装置

SOMATOM go.Top

Lead to the top expanding clinical demand

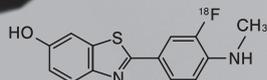
www.siemens-healthineers.com/jp



SIEMENS
Healthineers

全身用X線CT診断装置 ソマトム go Top/All 認証番号: 230AABZ00028000

nihon
medi+physics



放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準未収載

処方箋医薬品[※]

ビザミル[®] 静注

放射性医薬品基準フルテマモル (¹⁸F) 注射液

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。



資料請求先

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトでPET検査について紹介しています。

<http://www.nmp.co.jp>

2017年11月作成

FUJIFILM
Value from Innovation



REiLi

小型拡張ユニット

EX-Mobile NEW

富士フィルムのモダリティ機器や画像診断ワークステーションのオプション品です。
EX-Mobileに胸部X線画像病変検出ソフトウェア「CXR-AID」をインストールすることができます。
「CXR-AID」の活用範囲を広げ、医師の画像診断業務を支援します。

EX-Mobileは、下記オプションです。

- FUJIFILM DR CALNEO Smart 販売名: デジタルラジオグラフィ DR-ID 1200 の付属品EX-M1 認証番号: 226ABBZX00085000
 - FUJIFILM DR CALNEO Flow 販売名: デジタルラジオグラフィ DR-ID 1800 の付属品EX-M1 認証番号: 302ABBZX00021000
- 胸部X線画像病変検出ソフトウェア CXR-AID 販売名: 胸部X線画像病変検出(CAD)プログラム LU-AI689型 承認番号: 3030QBZX00188000
EX-Mobileは、販売名: デジタルラジオグラフィ DR-ID 1200のオプションの拡張ユニット(EX-M1)、販売名: デジタルラジオグラフィ DR-ID 1800のオプションの拡張ユニット(EX-M1)及び販売名: 富士画像診断ワークステーション CC-WS674型のオプションの補助コンピュータ(EX-M1)の総称です。富士画像診断ワークステーションの詳細はお問い合わせください。

製造販売業者 富士フィルム株式会社

販売業者 富士フィルム メディカル株式会社 〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フィルム西麻布ビル tel.03-6419-8075 (代)

<https://fujifilm.com/fms/>

胸部X線画像病変検出ソフトウェア「CXR-AID」



SEE MORE WITH AI

進化した“目”で、診る人を支える。

AI技術を活用して開発した胸部X線画像から結節・腫瘤影、浸潤影、気胸の候補領域を検出するソフトウェアです。胸部X線画像を受け取り、解析結果画像を自動的に作成して医師の画像診断を支援します。

CXR-AIDの
詳細はこちら ▶



※AI技術のひとつであるディープラーニングを設計に用いた。導入後に自動的にシステムの性能や精度が変化することはない。

カセット DR システムの使用イメージ

■ 撮影室



CXR-AIDは、カセットDR「FUJIFILM DR CALNEO Smart」シリーズおよび「FUJIFILM DR CALNEO Flow」シリーズと連携できます。X線撮影室で撮影後に、CXR-AIDの解析結果をコンソールで受信します。また、すぐにPACSへ元画像と共に解析結果画像を転送でき、読影医の速やかな画像診断を支援します。

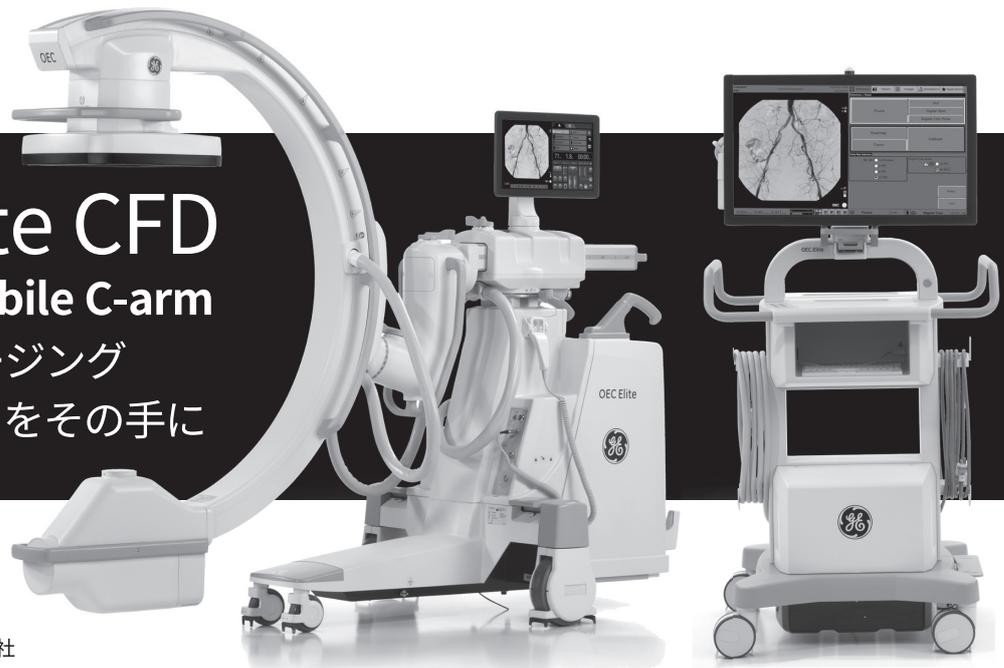
クリニック、在宅・
災害現場の使用
イメージはこちら ▶



※コンソールでの解析結果の表示は、「CXR-AID」による処理が実施されたことを確認するためのものであり、診断を目的としたものではありません。CXR-AIDの解析結果を利用した読影は画像診断ワークステーションで行う必要があります。

 **GE HealthCare**

OEC Elite CFD Premium mobile C-arm 卓越したイメージング パフォーマンスをその手に



GEヘルスケア・ジャパン 株式会社
カスタマー・コールセンター 0120-202-021

gehealthcare.com

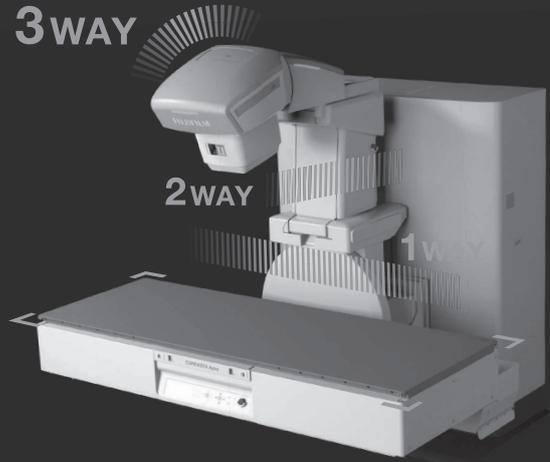
販売名: OEC Eliteシリーズ
医療機器認証番号: 228ACBZX00014000
JB09031JA



Scan me!

たて・よこ・ななめ、
診たいアングルに。

CUREVISTA Apex



販売名: デジタルX線遠視撮影システム CUREVISTA Open / CUREVISTA Apex
医療機器認証番号: 302ABBZX00032000
●CUREVISTAは富士フイルムヘルスケア株式会社の登録商標です。
●CUREVISTA Apexは3WAY ARMを搭載したモデルの呼称です。

富士フイルムヘルスケア株式会社
<https://www.fujifilm.com/fhc>

3WAY ARM | 3方向アーム(たて・よこ・ななめ)

これからは、「ななめ」でも被検者を動かしません。X線管アームの動きは水平方向の「たて」と「よこ」。そして、左右軸方向の「ななめ」がプラスされました。肝内胆管の重なりや前後が分かりづらい時は角度を変えて観察できます。出番は、たくさんありそうです。

約半世紀、
女性たちの笑顔のために



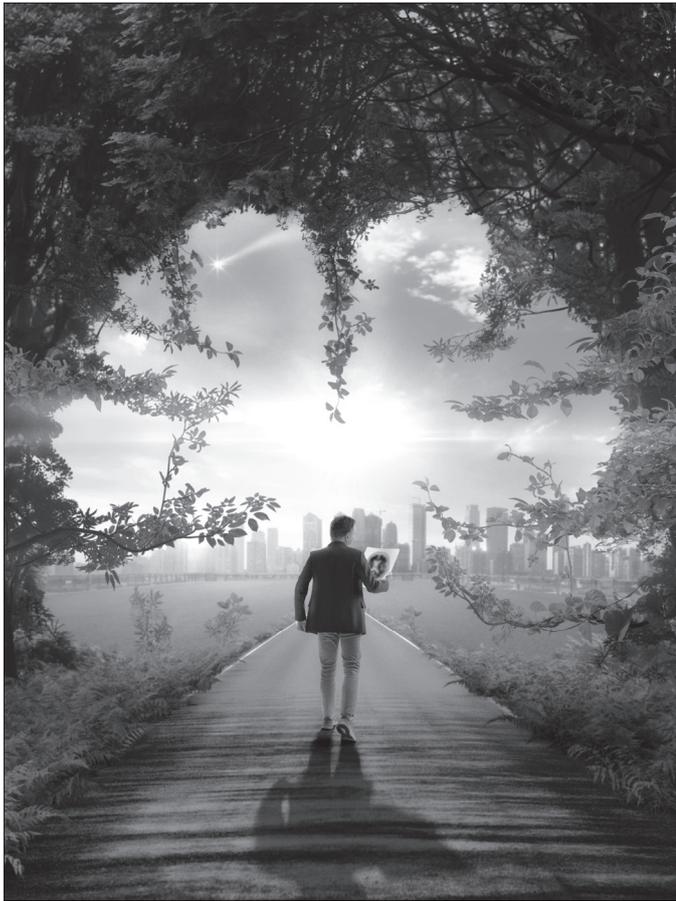
近年、働く女性が増えている一方で、月経や妊娠・出産など、女性特有の健康課題に悩まされる方も少なくありません。そんな女性の健康リスクを、医薬の力で支えたい。私たち富士製薬工業は、そう願っています。1965年の会社設立以降、女性医療分野に特化し、ライフステージに寄りそった医薬品を開発・製造・販売。また、スマートフォンアプリの提供をはじめ、女性の健康支援を目的とした啓発活動も行っています。私たちはこれからも、働く女性のすこやかな毎日のために、女性のこころとからだをトータルにサポートしてまいります。

 **富士製薬工業株式会社**

本 社 東京都千代田区三番町 5 番地 7
海外拠点 OLIC(Thailand) Limited

<https://www.fujipharma.jp/>





放射性医薬品 / アミロイドイメージング剤 処方箋医薬品[※] 薬価基準未収載

アミヴィッド[®] 静注

AMYViD[®] Injection

放射性医薬品基準フルルベタピル (¹⁸F) 注射液

[※]注意—医師等の処方箋により使用すること。

※効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等の詳細については、電子添文をご参照ください。

アミヴィッド、AMYViDはAvid Radiopharmaceuticals, Inc. の登録商標です。



製造販売元

PDRファーマ株式会社

文献請求先及び問い合わせ先

TEL 03-3538-3624

〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング

2023年12月改訂



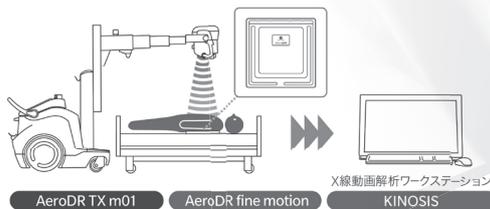
KONICA MINOLTA

Dynamic Digital Radiography デジタルX線動画撮影システム

Giving Shape to Ideas

ポータブル撮影の可能性を広げる ワイヤレス動画撮影を実現

Dynamic Digital Radiography デジタルX線動画撮影システム
撮影した動画は、X線動画解析ワークステーション「KINOSIS」へ
送信することにより、視認性の向上や定量化を目的とした
様々な画像解析処理を実施することができます。



下の二次元コード
から動画像をご覧
頂けます



Mobile X-Ray System

AeroDR TX m01

多様な視点で未来をデザインする
RETHINK WHAT'S POSSIBLE

販売名: 移動型汎用X線装置 AeroDR TX m01 (製造販売認証番号: 303ABBZX00055000) ★ AeroDR fine motion/fineは、『デジタルラジオグラフィ SKR 3000』(製造販売認証番号: 228ABBZX00115000)の呼称です。
★ X線動画解析ワークステーション KINOSIS、及びKINOSISは、『画像診断ワークステーション コニカミノルタ DI-X1』(製造販売認証番号: 230ABBZX00092000)の呼称です。★記載の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

製造販売元: コニカミノルタ株式会社 販売元: コニカミノルタ ジャパン株式会社 105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>



編集後記

皆さま、あけましておめでとうございます。本年も「埼玉放射線」をよろしく願い致します。

私事ですが、無事に厄年（後厄）が終わりそうです。この会誌が出版されるころには終わっていることでしょう。また、2年前から通っている通信制の大学も終わりが見えてきました。今年は次の目標に向かって飛躍の年にしたいと思います。

そういえば、先日たまたま行った居酒屋で「宇宙ブルーイング」という醸造所のクラフトビールを飲んだのですが、びっくりするくらい美味しく、家でも飲みたいと思い探してみましたが、取り扱い店舗も少なく、入荷してもすぐに完売してしまい入手することができません。公式サイトから取り寄せようにも発売開始と同時に売り切れてしまうほどの大人気のようです。そういう商品はどうしても欲しくなる性格で、入荷日はアナウンスしているので入荷のタイミングを見計らって、先日なんとか公式サイトから購入することができました。まだ手元に届いていないのですが、特別なイベントの後に飲むのも良いかもしれませんね。

特別なイベントといえば、2024年3月3日（日）に大宮ソニックシティで第37回埼玉県診療放射線技師学術大会が開催されます。すでに事前の申し込みも開始されております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

よっしー

埼玉放射線 第275号

印刷 2024年1月24日

発行日 2023年2月5日

発行所 〒331-0812
さいたま市北区宮原町2-51-39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

発行人 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 富田 博信
編集代表 清水 邦昭

編集委員 吉田 敦
宮崎 雄二
潮田 陽一
肥沼 武司
大友 哲也
渡部 伸樹
堀越 隆之
八木沢英樹

印刷 〒130-0023
東京都墨田区立川2丁目11番7号
株式会社キタジマ
電話 03 (3635) 4510

表紙の
解説

「2024初日の出」

写真提供 清水 邦昭氏



事務所

〒331-0812
さいたま市北区宮原町2丁目51番39
公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

電話 048-664-2728

F A X 048-664-2733

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務員 戸澤 茜

勤務時間 9:00~12:00

13:00~15:00

電話問い合わせは平日の月・水・金のみ



院外に放射線科 もうひとつの選択肢

メディカルクリエートは遠隔画像診断に限らず
あなたの業務全般をサポートします



遠隔診断



至急判定



健診判定



臨床診断



院内勉強会企画



システム導入相談

独自の判定ワークフローで高精度*かつ迅速な判定
胸部・胃部・MMG・CT・MRI・超音波・眼底・心電図

※弊社所属の医師は定期的に
精度管理テストを受けています（胸部・MMG実施，胃部準備中）

株式会社メディカルクリエート

■大宮本社 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-403 ほていやビル3階
TEL 048-782-7424

saitama-medical-create.jp



公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

HP <https://www.sart.jp> E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

領布価格：1,000円（会誌購読料は会費に含まれる）